

荒川クリーンエイド2009 報告集



荒川で
ちよつと
いいこと
ゴミ拾い
子どもたちに豊かな自然環境を残そう



もくじ

ごあいさつ 1

■ クリーンエイド活動 4

上流から河口までゴミ拾いのネットワーク 4

荒川クリーンエイド2009の概況 6

数えながら拾うことでわかること 9

クリーンエイドの一年 16

クリーンエイドの一日 18

サポート・サービス 20

荒川クリーンエイドの仲間たち 22

■ 水質調査 30

■ 流域連携 33

■ 環境学習支援 34

■ 市民ボランティア活動の運営支援 38

■ 新たなステージを目指して 38

2009年の新たな取り組み 38

荒川クリーンエイドの果たしてきた役割 39

よりよい荒川を目指して 39

■ 指導者育成 40

■ データ 41

■ 資料 45

ゴミ調査用紙 45

広報資料 47

マスコミで紹介された荒川クリーンエイド 48

2009年の主な活動 50

荒川クリーンエイド2009お世話になりました 52

荒川クリーンエイド・フォーラムの組織 53

■ コラム

● 草刈りにより、手つかずだった場所での
クリーンエイドが可能に 6

● プラスチックの破片が生態系に与える影響 9

● 24時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション」 21

● 「埼玉の川をめぐる動き」について 51

ごあいさつ



荒川 身近な環境を守る活動の定着へ

佐藤 正兵

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム代表理事

地球温暖化対策は、いまや人類の最も緊急かつ重要な問題となっています。このような環境問題への関心の高まりのなかで、荒川クリーンエイド活動が注目され、皆様の関心と参加も増えていると感じています。

2009年は、財団法人日本河川協会から荒川クリーンエイド・フォーラムが「河川功労者賞」を受賞し、同協会発行の『河川』7月号にも活動が紹介されました。また「24時間テレビ荒川クリーンエイドアクション」が2年続けて実施され、日本テレビなどで全国放映されました。

荒川クリーンエイド活動は1994年から始めて今回で16年目ですが、2003年以来年間約1万人の参加で実施されてきました。今年のクリーンエイドでは、企業の会長さんや社長さん、区長さんや校長先生など各主催団体のトップの方々がごぞって参加され、各団体の取り組みに一段と弾みがついていることがうかがわれます。

今年度新しく開拓した会場(西新井橋上流右岸、八広のヒメマイトトンボ生息地など)では荒川下流河川事務所が草刈りを実施し、非常にたくさんのゴミが回収されました。このように荒川下流域の多くの自然護岸でクリーンエイドを実施したことにより、全部とはいえないまでも自然護岸のかなりの部分でクリーンエイドが実施されました。

また、近年下流部の水際に繁茂する特定外来種(アレチウリなど)を除去するために荒川下流河川事務所が、水際から河川敷にかけて広範囲に草刈を実施しましたが、そのことによって水際のゴミが拾いやすくなり、たくさ

んのゴミを回収できました。

荒川の源流・上流域との連携した取り組みも進んでいます。9月には秩父市の森林組合やバイオマス発電などの見学と交流を行いました。また、NPO法人荒川流域ネットワークや他の流域市民団体と協働で、東京湾から源流まで荒川を魚が自由に行き交うような環境作りに向けて「アユの遡上支援作戦」を実施しています。これは、標識アユを放流し、それがどこまで遡上できるかを調べるもので、2010年も継続して実施されます。

2009年は新規参加団体として、企業や、労組、高校、ロータリークラブなどが新しく参加されましたが、それに加えて、初めて海外からの参加として韓国の仁川国際高校が修学旅行の中でクリーンエイドを実施し、2月にはマレーシアからの研修者グループにクリーンエイドについての講義を行いました。

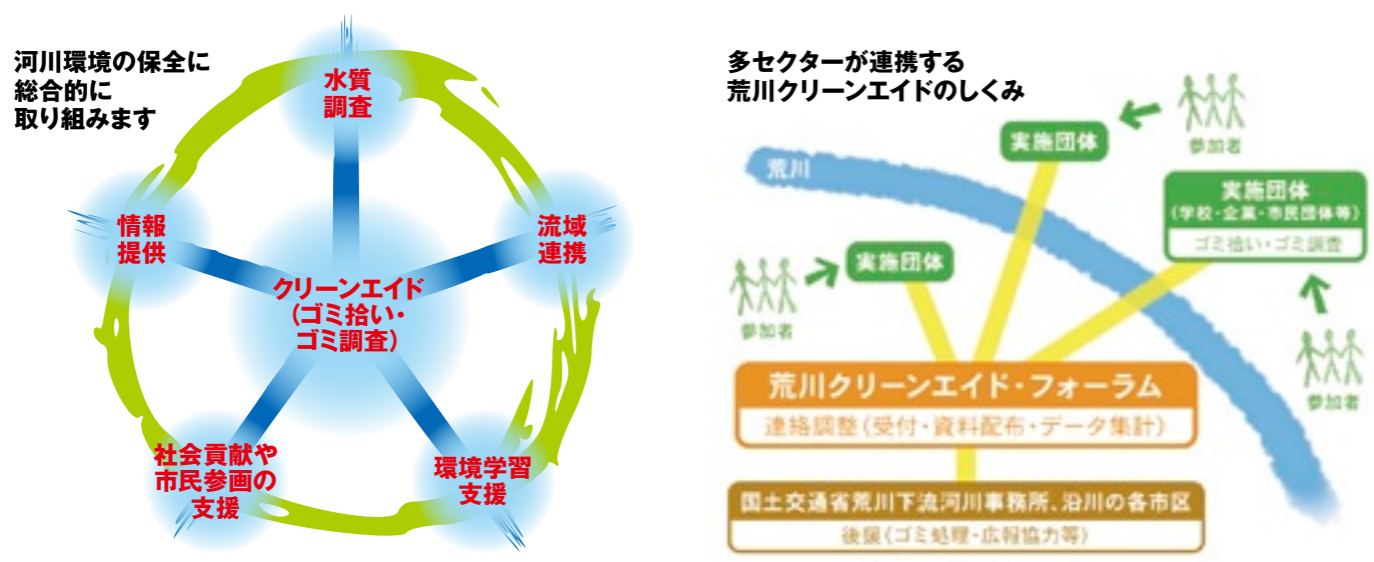
海岸漂着ゴミの処理について新たな法律(海岸漂着物処理推進法)が公布・施行され、ようやく国レベルの対応が始まることになりました。世界の海を漂流するゴミの7割以上は川から流れ出すものであり、海に流れ出す前に川で拾い上げることは非常に重要で、漂着・漂流ゴミ対策も国際連携の時代を迎えています。

国の政権が変わり、国土交通省予算の使い方について議論がありますが、河川・海洋ゴミ問題は絶対に疎かにできない問題だと思いません。

荒川クリーンエイドは2010年も引き続き実施いたしますのでどうぞよろしくご協力をお願いします。

荒川クリーンエイド・フォーラムが目指すもの

未来を担う子どもたちに豊かな自然環境を残すため、荒川流域でのゴミ拾いを中心とした取り組みを通して、市民の環境保全意識を高め、健全な生態系の保全に貢献します。





地域で進める川づくり

佐々木 淑充 国土交通省荒川下流河川事務所長

首都東京を流れ貫く荒川部は、東京周辺の地域の方にとって貴重な憩いの空間になっています。実際、年間1600万人の方が荒川を訪れ、散歩、自然観察、スポーツ利用など、様々な形で荒川を使っています。このような身近な荒川をどのように管理し、どのように守っていくか、行政コストの大幅な削減が求められている現状では、とても大きな課題です。

特に河川敷のゴミ問題は、上流から流れ着くゴミや不法投棄もあり、継続的に取り組んでいかなければならない問題です。これまでも国土交通省荒川下流河川事務所では、ゴミ問題を最重要課題の一つとして取り組んで参りました。地域の方と行政が一体となってゴミ問題に取り組んでいくために、平成12年9月には「荒川下流部ゴミ対策アクションプラン」を策定し、その中心的活動として「荒川クリー

ンエイド活動」を位置付けているところです。

荒川クリーンエイド活動は、計画の位置付け如何に関わらず、地域の方々により平成6年から熱心に続けられてきています。地域の方々の熱心な活動に、心より敬意を表します。近年、その活動は一層の広がりを見せ、河川敷のゴミ問題について、地域の方々の意識を大きく変革させたと感じています。このことで、地域主体での川づくりが推進され、地域にとってより良い川づくりができつつあるのではないのでしょうか。

行政としましても、地域の方々による川づくりと連携し、一体となって、今後も「安全・安心」で潤いのある荒川づくりをめざし、努力してまいります。引き続き、荒川クリーンエイド活動に皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。



川の生態系を守る「順応的管理」への住民参加を

鬼頭 秀一 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム理事
東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授

水辺とのかかわりは人間の自然との原初的なかかわりであり、子どもたちが自然との原体験として川などの水辺とのかかわりを持つことはもともと重要である。ゴミを拾うという行為を通じて身近な水辺でもある荒川とのかかわりを持つことの意味がそこにある。水辺とかわるあり方は、ゴミを拾うという行為から、魚を獲ったりする行為も含めて、水生昆虫へと向けられ、川の水質への関心にも向かう。そして、水辺の生態系を感じられるものになって、より全体的なかかわりになっていく。

今まで、生態系に対しては、「保護」「保全」というように、ゴミを拾う行為も含めて、生態系を「まもる」ということが重要であった。しかし、人間が歴史的にも自然とより積極的で密接な

関係を持ってきたことを考えても、また、かつての「自然」がさまざまな形で失われてきたこともあり、より動的な「管理(マネジメント)」という新しい形のかかわりも重要になってきている。

「管理」といっても、自然を、専門家だけが、「コントロール」するというのではない。人間が自然について本質的に知り得ないことを前提にした「順応的管理(アダプティブ・マネジメント)」という新しい手法、専門家のみならず地域の人たちや市民がさまざまな形で参加や協働を通じて行っていく「協働的管理(コ・マネジメント)」の必要性が認識されるようになった。クリーンエイドの活動もその中でさらに発展していくであろう。「順応的統治(アダプティブ・ガバナンス)」の時代のNPOのあり方が求められている。



次の10年へ向けて

恵 小百合 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム理事
特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク代表理事
江戸川大学 社会学部ライフデザイン学科教授
江戸川大学 総合福祉専門学校 校長

「環境の市民活動をしています。」とお話をするとよく聞かれる「それで、環境はよくなったのですか？」という問いに対する私の答えは、「はい、現場体験をして感動し、自分の五感で環境を観る眼を持つ人が増えています。」です。荒川クリーンエイド・フォーラムで、これまでに毎年のクリーンエイドに参加した人々の数1万人を目標として展開されてきました。一度河川のゴミ拾いに参加した人は絶対に捨てないでしょうし、何度も参加されるでしょう。これからは毎年「初クリーンエイダー1万人作戦」とでも設定していくと環が広がりますね。

現場をよく見ている人が一番「環境がよくなったか」を知っています。さらに、環境の変化については、データで知ることもできますが、こちらはあくまでも媒体を通しています。

報告書やデータで見るときも、調査主体、手法やデータのまとめ方の違い、TVなどディレクターの眼、写真はカメラマンの画角が切り取られているもの、資料はそれをまとめた人の意図、人の話はその人の見方や話し方というように、間接的な理解になります。それに対して、直接現場体験をする人々は、季節感、匂い、温度、湿度、風、暗騒音(その場所の背景として聞こえてくる音)、遠景や囲まれている景観の持つ雰囲気や風景、空中を飛ぶトンボ、昆虫や鳥たち、水中や土中、草むらの中の生き物などを見つけることもできます。ゴミを拾いながら歩いたり、自転車で河川敷を走ってみる、意外にあるアップダウンに汗をかいて得た発見や驚きは環境理解への道です。

こうした現場「ライブ」に魅せられ、身も心も再生していく人間の数を増やし、現場に行こうと思ふ行動を取る人々を増やすこと、そして環境と付き合う技術、環境を再生する知恵、環境を次世代に遺したいと思う心と幸せを育みましょう。

クリーンエイド活動

クリーンエイドとは、Clean(きれいにする)+Aid(助ける)、つまり、みんなで川のゴミを拾って自然が回復するのを助ける活動です。

行政・企業・自治体等とのパートナーシップを実現しながら、ゴミ拾いを通じて荒川の自然を取り戻し、市民の環境保全意識を高めることを目指しています。

凡例

- 秋実施会場
- 春実施会場
- 数字は会場番号
- (P7~8 実施会実施概況一覧参照)

主な実施団体のタイプ

- 市民団体
- 自治体・行政
- 企業
- 学校
- 学校以外の子ども関係

上流から河口までゴミ拾いのネットワーク

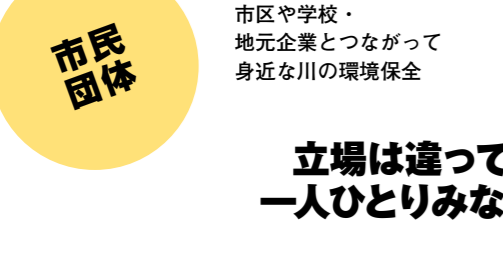


総合的な学習の時間に環境学習の一環として、地域を愛する心を育む



野球・サッカーチーム

お世話になっている荒川に感謝の気持ちをこめて



市民団体

市区や学校・地元企業とつながって身近な川の環境保全

立場は違っても一人ひとりみな市民



行政

市民では拾いきい場所・危険な場所でのゴミ拾いは荒川下流河川事務所にお任せ



企業

社会貢献の一環として環境保全に取り組む、社員の社会性向上のために

16年目を迎えた
荒川クリーンエイド
年間90会場を実施、
9888人が参加しました!



高等学校

育てたい身近な自然環境を守る心

必修化した奉仕活動の一環として、若者たちに社会体験を!

ボーイスカウト・ガールスカウト

青少年の社会性を育むために



こどもエココラブ、水辺の楽校

荒川をきれいにして、生き物たちを守ろう!

荒川クリーンエイド2009の概況

1. エントリー会場の増加で 拡がるクリーンエイド

エントリー会場数は111で、昨年より9会場増えました。春秋とも雨天中止会場が多く、実際に開催された会場数は90にとどまりました。(表1)

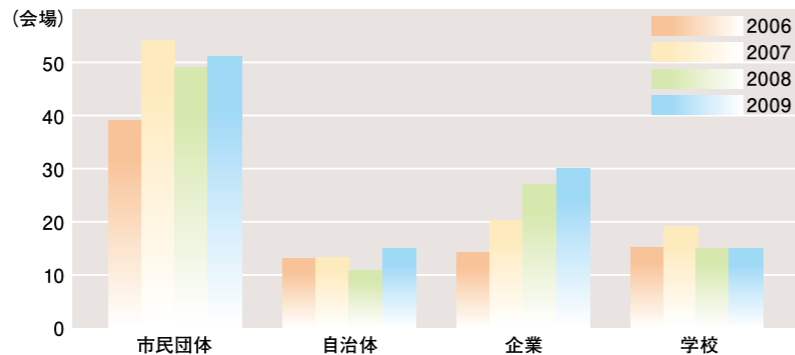
表1 会場数の推移

	2005	2006	2007	2008	2009
エントリー会場数	75	81	106	102	111
実施会場数	69	77	100	92	90

2. 増える企業の会場

主催する団体のタイプで見ると、企業の実施会場が顕著に増えています。(グラフ1)

グラフ1 団体タイプ別会場数(エントリー数)の推移

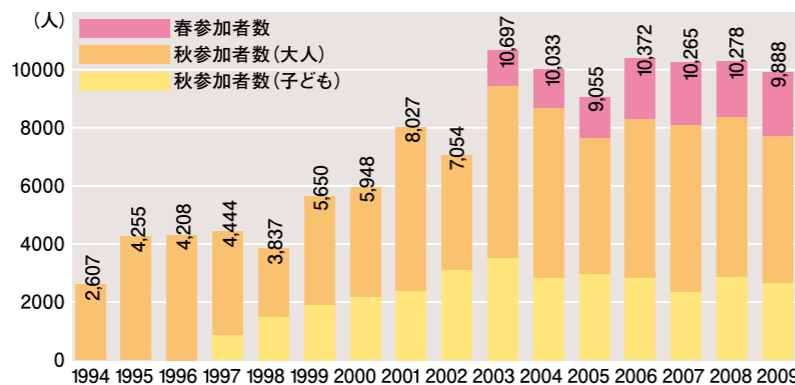


注：複数団体が主催する会場については、中心となる団体でカウントした。

3. 今年も約1万人が参加

春秋とも雨天中止会場が多かったことを反映して、年間参加者数は9,888人にとどまりました。1994年からの累計参加者数は、116,618人となりました。(グラフ2)

グラフ2 参加者数の推移

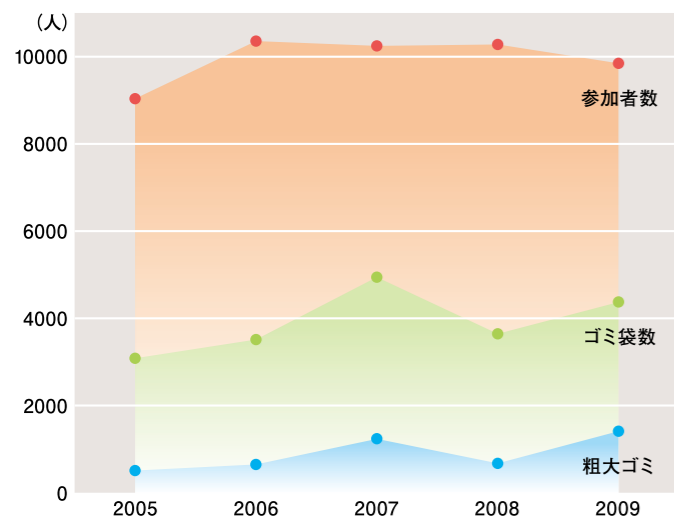


4. ゴミ回収量の増加

参加者数の微減にもかかわらず、ゴミ袋数、粗大ゴミ数ともに昨年を大きく上回りました。今年新たに実施した会場で、特に多くのゴミが回収されました。(右下コラム参照)また、昨年は関東上陸の台風がひとつもなかったのに対し、今年は台風上陸があった影響も考えられます。(グラフ3)

注：散乱ゴミはゴミ袋に入るゴミ。
粗大ゴミは袋に入らないような大きなゴミ、重いゴミ。

グラフ3 ゴミ袋数・粗大ゴミ数の推移



草刈りにより、手つかずだった場所でのクリーンエイドが可能に!

国交省・沿川市区の協力により、ヒヌマイトトンボ保全地区の管理、特定外来種対策等と併せた草刈りが実施され、これによりこれまでゴミがたまり続けていた場所でのクリーンエイドが可能となりました。

草刈りにより新たに実施された会場は、都民ゴルフ場脇(春No.24)、舎人ライナー下流右岸(春No.12)、西新井橋上流右岸(秋No.52,53)、堀切リバーステーション下流左岸(秋No.57)、木根川橋上流左岸(春No.6)。



ヨシ原の草刈り

■荒川クリーンエイド2009(秋)実施概況一覧(9~12月) =上→下流順=

会場No	実施市区名	実施会場名	実施団体名	キャプテン名	一般参加	実施日	曜日	開始時間	天気	大人	子ども	参加者数	ゴミ袋数	粗大ゴミ数
1	秩父市	秩父市宮影森グラウンド前	NPO法人秩父の環境を考える会	磯田久子	○	10月25日	日	中止						
2	長瀨町	高砂橋上流右岸	秩父こどもエコクラブ	新井秀直	○	9月20日	日	9:30	快晴	7	16	23	5	0
3	熊谷市	野鳥の森、見晴公園、日本ヒューム管前、村岡運動場、桜木小学校前、久下公民館前	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会、第12回荒川の恵みと熊谷の環境を考える集い実行委員会	栗原 堯	○	11月8日	日	8:30	曇	1,166	281	1,447	可燃 1380kg 不燃 870kg 粗大 770kg	
4	鴻巣市	大芦橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島秀男	○	11月23日	月	9:00	晴	10	0	10	20	
5	鴻巣市	糠田橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島秀男	○	11月23日	月	8:30	晴	20	0	20	60	1
6	鴻巣市	御成橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島秀男	○	11月23日	月	9:30	晴	20	0	20	20	2
7	滑川町	市野川 羽尾地区高橋	市野川水系の会イン滑川町	伊藤泰史	○	10月18日	日	9:30	晴	14	0	14	19	2
74	東松山市・吉見町	市野川橋上流吉見百穴前	ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会	桜井福司	×	11月14日	土	中止						
8	川島町	太郎右衛門自然再生事業地	NPO法人荒川流域ネットワーク	鈴木勝行	○	11月8日	日	9:00	快晴	20	0	20	69	319
9	上尾市	三ツ又沼ビオトープ	NPO法人荒川の自然を守る会	菅岡宏子	○	10月4日	日			8	0	8	(カウントせず)	
45	川越市	入間川上戸運動公園	NTT東日本埼玉グループ	矢沼恒雄	×	11月8日	日	9:00	晴	53	3	56	81	0
46	さいたま市	さいたま市秋ヶ瀬運動公園	NTT東日本埼玉グループ	矢沼恒雄	×	11月8日	日	9:00	晴	101	3	104	56	9
47	さいたま市	秋ヶ瀬公園	ダイエーグループ、マルエツグループ、セディナグループ、丸紅グループ	細田真也	×	11月7日	土	10:30	晴	152	28	180	35	30
10	鳩山町	越辺川・石今橋周辺	NPO法人はとやま環境フォーラム	愛場謙嗣	○	10月18日	日	9:00	快晴	7	0	7	15	9
11	鶴ヶ島市	大谷川・太田ヶ谷地区・藤金地区・五味ヶ谷地区	大谷川クリーンエイド実行委員会	鈴木勝行	○	11月1日	日	9:00	晴	81	5	86	92	11
12	日高市	高麗川獅子岩橋	みずすましの会	島田和美	○	10月18日	日	14:00	晴	3	0	3	9	1
13	狭山市	不老川新入曾橋上流	不老川流域川づくり市民の会	逸藤日出子	○	11月1日	日	9:30		20	8	28	6	0
14	東久留米市	黒目川上落馬橋	黒目川クリーンエイド実行委員会	菅谷輝美	○	10月25日	日	10:00	小雨	88	500	588	44	8
15	朝霞市	黒目川浜崎黒目橋	黒目川に親しむ会	藤井由美子	○	10月11日	日	10:00	晴	12	2	14	10	19
48	板橋区	笹目橋下流右岸	㈱ファミリーマート	榎本 勤	×	10月17日	土	10:00	曇	10	0	10	7	2
16	板橋区	板橋自然生態園・中規模自然池周辺	いたばし野鳥クラブ、JP労組城北支部、板橋区緑と公園課、板橋水辺を楽しむ会、センスオブアース	栗林菊夫	○	10月25日	日	10:00	雨のち曇	46	9	55	21	14
49	板橋区	戸田橋緑地草地広場周辺	板橋グローブクラブ	佐々木千枝	×	11月15日	日	10:00	晴	10	13	23	3	0
17	戸田市	戸田橋左岸周辺	(財)埼玉県生態系保護協会戸田・蕨支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ	石本 誠	×	11月14日	土	中止						
18	川口市	三領水門~荒川鉄橋(荒川運動公園付近)	川口市、ガールスカウト川口地区協議会	重信健二	×	11月1日	日	中止						
19	川口市	河原町はらっぱ	(財)埼玉県生態系保護協会川口支部	西尾研二	○	10月24日	土	10:15	曇	7	2	9	15	6
50	北区	JR東北線右岸周辺	都立桐ヶ丘高校	石川正彦	×	11月10日	火	13:30	晴	80	0	80	40	2
20	北区	北区子どもの水辺	北区水辺クラブ	松下正義	○	10月10日	土	10:00	曇	3	0	3	3	0
21	北区	北区子どもの水辺	北区水辺の会	太田桐正吾	○	10月17日	土	10:00	曇	12	0	12	13	2
22	北区	荒川岩淵開緑地	北区まちづくり部道路公園課	山崎伸一	○	10月18日	日	10:00	晴	300	16	316	103	14
23	北区	岩淵水門付近	日本ボーイスカウト東京連盟北区第11団	渡辺英敏	○	9月27日	日	10:30	曇	6	8	14	6	0
24	足立区	扇大橋下流右岸	尾久の原愛好会	池田 稔	×	10月25日	日	中止						
25	足立区	扇大橋下流右岸少年運動場	荒川区教育委員会事務局社会体育課	古口忠志	○	11月1日	日	7:45	晴	100	350	450	73	10
51	足立区	西新井橋上流右岸 New	都立白鷺高校 New	佐藤織香	×	10月1日	木	10:00	曇	493	0	493	281	140
52	足立区	西新井橋上流右岸 New	三井住友海上メットライフ生命保険(株) New	野田龍志	×	11月28日	土	10:00	晴	30	11	41	35	10
26	足立区	西新井橋野球場	荒川区教育委員会事務局社会体育課	古口忠志	○	11月1日	日	8:00	晴	11	0	11	1	0
27	足立区	千住新橋上流右岸(運動公園)	台東区教育委員会青少年スポーツ課	篠原正之	○	10月10日	土	8:00	晴	5	30	35	18	4
53	足立区	千住新橋上流右岸	㈱日立ビルシステム	高橋 円	×	10月3日	土	中止						
79	足立区	千住新橋上流右岸	日本サムスンデザインチーム New	加藤雅也	×	11月21日	土	10:00	晴	16	3	19	16	0
28	足立区	千住新橋右岸周辺	荒川クリーンエイド・フォーラム	佐藤正兵	○	9月26日	土	10:00	晴	43	0	43	35	7
54	足立区	扇大橋下流左岸	足立区立寺地小学校	丸山昌哉	○	10月27日	火	中止						
44	足立区	本木ワンド(扇大橋下流左岸)	足立区あらかわ市民会議	鈴木 誠	○	11月8日	日	9:00	曇	17	4	21	20	11
56	足立区	千住新橋下流左岸(千住新橋緑地)	足立成和信用金庫	齋藤貴子	×	9月26日	土	8:30	晴	374	10	384	40	0
29	足立区	千住新橋下流左岸(千住新橋緑地)	足立区、足立区荒川ビジターセンター、足立の川を考える会	八嶽一生	○	11月8日	日	8:30	晴	253	193	446	124	39
55	足立区	千住新橋下流左岸(千住新橋緑地)	東京白鷺・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ	武居正幸	×	10月3日	土	中止						
30	荒川区	隅田川白鬚橋上流右岸	あらかわエコフレンド	押川賢次郎	×	10月25日	日	中止						
31	墨田区・台東区	隅田川吾妻橋~桜橋テラス	隅田川市民交流実行委員会	糸井 守	○	9月26日	土	10:00	晴	2	0	2	8	0
32	葛飾区	堀切橋下流左岸	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	黒川幹雄	○	10月25日	日	9:00	小雨のち曇	12	36	48	15	11
57	葛飾区	堀切リバーステーション下流左岸 New	国土交通省荒川下流河川事務所	佐藤信行	×	10月23日	金	14:30	晴	44	0	44	69	39
33	葛飾区	四ツ木橋下流左岸	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	関口 徹	○	10月25日	日	9:00	小雨のち曇	8	89	97	48	5
58	葛飾区	木根川橋周辺左岸	新生銀行グループ New	永原佐知子	×	10月17日	土	10:00	曇	33	9	42	61	3
59	葛飾区	木根川橋周辺左岸	新生フィナンシャル(株)	永原佐知子	×	10月21日	水	14:00	晴	58	0	58	129	4
80	葛飾区	木根川橋下流左岸	仁川国際高校 New	車 榮現	×	11月27日	金	9:00	晴	45	0	45	53	36
34	葛飾区	平井大橋上流左岸(葛飾あらかわ水辺公園)	東京損害保険代理業協会	武倉利幸	○	10月24日	土	11:00	曇	40	0	40	32	3
62	葛飾区	平井大橋下流中土手	葛飾区立小松南小学校	田中美穂	×	11月17日	金	延期						
35	墨田区	四ツ木橋上流右岸	(株)エックスワン	橋本博人	○	11月7日	土	10:00	晴	122	0	122	110	43
36	墨田区	四ツ木橋下流右岸(自由運動公園)	墨田区、ライオン株	郡司剛弘	×	11月14日	土	中止						
73	墨田区	京成押上線周辺右岸	DKWBS New	長内康弘	○	10月18日	日	10:00	晴	34	2	36	29	13
76	墨田区	京成押上線周辺右岸	GEキャピタル・ジャパン	堂園義信	×	10月25日	日							中止
61	墨田区	木根川橋下流右岸	松山油脂(株)	杉崎広信	×	11月21日		10:15	晴	32	0	32	59	10
65	江戸川区	木下川排水機場桶管~荒川ロックゲート	小松川平連合町会	谷川貞夫	×	11月15日	日	8:00	晴	325	675	1,000	(カウントせず)	
64	江戸川区	平井大橋右岸周辺	(株)ローソン	伊藤義人	×	11月1日	日	10:00	晴	90	38	128	57	24
37	江戸川区	総武線下流右岸	下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラム、三井ボランティアネットワーク事業団	中嶋美南子	○	10月18日	日	10:00	晴	36	15	51	37	15

数えながら拾うことでわかること～荒川から地球が見えてくる～

会場 No	実施市区名	実施会場名	実施団体名	キャプテン名	一般参加	実施日	曜日	開始時間	天気	大人	子ども	参加者数	ゴミ袋数	粗大ゴミ数	
67	江戸川区	総武線下流右岸	江戸川区立平井東小学校	峰岸知恵子	×	10月21日 →11月25日	水	延期							
66	江戸川区	総武線下流右岸	江戸川区立平井小学校	佐藤綾子	×	11月17日	火	9:15	晴	5	39	44	5	1	
78	江戸川区	小松川橋周辺右岸	(株)藤商事	飯山 清	×	11月7日	土	10:00	晴	66	2	68	32	18	
68	江戸川区	船堀橋上流右岸	東京東江戸川ロータリークラブ New	嶋村文男	×	11月28日	土	9:30	晴	128	65	193	140	45	
38	江戸川区	船堀橋上流右岸	江戸川生活者ネットワーク、ガールスカウト第215団	藤居阿紀子	○	11月8日	日	10:00	晴	30	15	45	42	20	
75	江戸川区	船堀橋上流右岸	ブルームバーグ L. P.	野口有紀	×	10月14日	水	9:20	曇	44	0	44	51	21	
69	江戸川区	船堀橋下流右岸	日本アイ・ピー・エム(株)	横田由美子	×	11月1日	日	10:00	晴	53	13	66	98	41	
70	江戸川区	都営新宿線下流右岸	シティグループ	美馬貴子	×	11月7日	土	10:00	晴	9	0	9	32	6	
60	江戸川区	都営新宿線下流右岸	ブルームバーグ L. P.	野口有紀	×	12月16日	水	10:00	曇	15	0	15	58	36	
39	江戸川区	中土手五色池付近	中土手に自然を戻す市民の会	佐藤正兵	○	11月15日	日	10:05	晴	20	7	27	13	0	
63	江戸川区	中土手五色池付近	江戸川区立大杉小学校	細谷佳代	×	10月23日	金	12:15	曇のち晴	8	144	152	5	3	
40	江戸川区	葛西橋上流中土手	江戸川区土木部、えどがわエコセンター、江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ	小川耕治	○	11月1日	日	9:50	曇	18	0	18	64	8	
71	江戸川区	葛西橋周辺中土手	江戸川区立西葛西中学校	松岡英理	×	9月26日	土	10:00	晴	1	12	13	3	0	
77	江戸川区	葛西橋周辺中土手	江戸川区立西葛西中学校	松岡英理	×	10月19日	月	15:00	晴	1	16	17	3	0	
43	江戸川区	葛西海浜公園東なぎさ	葛西東渚・鳥類園友の会	飯田陳也	○	11月10日	火	10:00	晴	120	0	120	220	20	
41	江東区	葛西橋下流右岸	Jambo International Center	ディヴィッド・ハウエンスタイン	○	10月16日	金	10:00	晴	2	0	2	13	4	
81	江東区	葛西橋下流右岸	Jambo International Center	ディヴィッド・ハウエンスタイン	×	12月11日	金	中止							
42	江東区	葛西橋下流右岸	江東区土木部水辺と緑の課	広川隆司	○	10月24日	土	9:30	晴	37	1	38	29	2	
72	江東区	新砂干潟(清砂大橋下流右岸)	江東エコリーダーの会	阿部美和	×	11月1日	日	12:30	晴	11	0	11	30	11	
(計81会場中67会場で実施)										秋(9～12月)合計	5,047	2,673	7,720	2,940	1,114

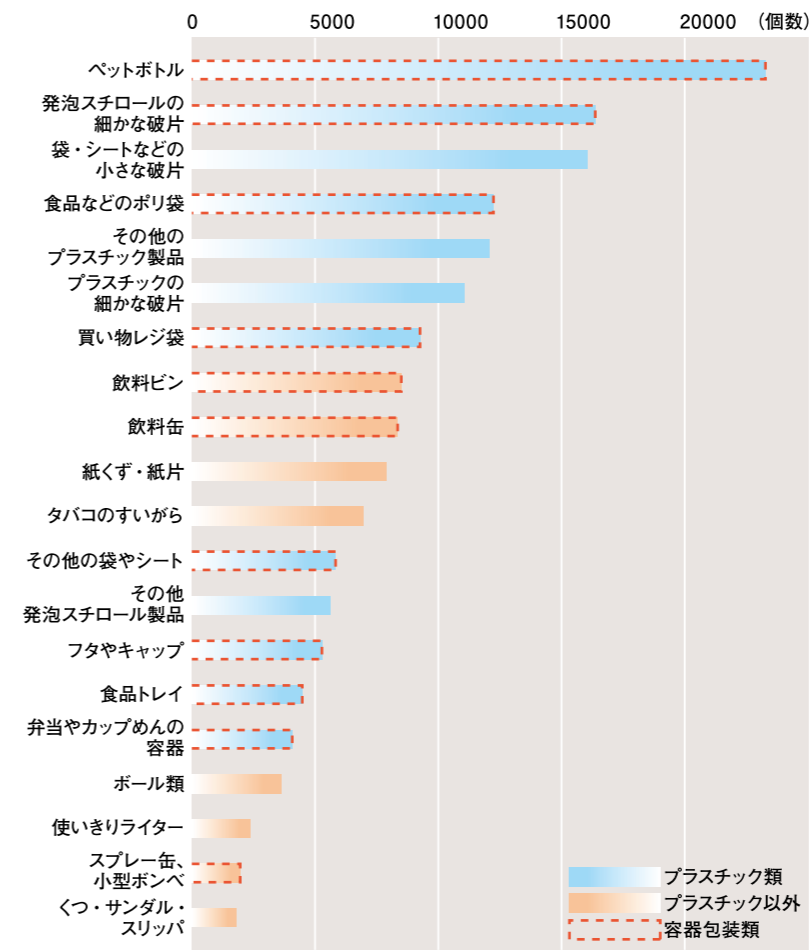
■荒川クリーンエイド2009(春)実施概況一覧(1～8月) =上→下流順=

会場 No	実施市区名	実施会場名	実施団体名	キャプテン名	一般参加	実施日	曜日	開始時間	天気	大人	子ども	参加者数	ゴミ袋数	粗大ゴミ数	
21	板橋区	戸田橋緑地付近	富士ゼロックスシステムサービス(株) New	平野江里子	×	6月13日	土	10:30	曇	48	4	52	53	7	
13	板橋区	板橋区中規模自然地区・生物生態園周辺	いたばし野鳥クラブ 板橋水辺を楽しむ会 NPO法人センスオブアース	栗林菊夫	○	5月10日	日	10:00	晴	31	3	34	26	6	
29	川口市	緑川	緑川を豊かな環境にする会	田中信重	○	6月7日	日	中止							
23	川口市	芝川壟川水門周辺	MAPかわぐち 芝川プロジェクト実行委員会 New	長谷川剛之	○	5月17日	日	中止							
8	川口市	荒川運動公園釣堀池付近	荒川夢クラブ	林美恵子	○	4月19日	日	10:15	晴	9	0	9	3		
10	川口市	河原町はらっぱ	(財)埼玉県生態系保護協会川口支部	西尾三枝子	○	4月25日	土	中止							
22	北区	北区・子どもの水辺	北区水辺の会	太田桐正吾	○	6月20日	土	9:00	曇	96	2	98	28	11	
26	北区	岩淵水門付近	日本ボーイスカウト東京連盟北区第11団	渡辺英敏	○	6月28日	日	10:30	曇	6	5	11	3	0	
24	北区	都民ゴルフ場脇 New	国土交通省荒川下流河川事務所	佐藤信行	×	6月23日	火	10:00	晴	38	0	38	46	64	
19	足立区	扇大橋下流右岸	尾久の原愛好会	池田 稔	○	6月7日	日	13:30	晴	7	0	7	5	3	
12	足立区	舎人ライナー下流右岸 New	NTT労働組合東京グループ連絡協議会 New	野口 達	×	5月9日	土	10:30	晴	225	40	265	215	33	
3	足立区	西新井橋付近右岸	荒川区立第七峡田小学校6年生	小林秀美	×	2月23日	月	中止(順延2回の未)							
11	足立区	千住新橋上流右岸	荒川クリーンエイド・フォーラム	薄井洋一	○	4月25日	土	10:00	晴	9	0	9	4	0	
20	足立区	堀切橋～千住新橋右岸	足立学園中学校	赤沼和俊	×	6月11日	木	中止							
28	荒川区	白髭橋上流右岸(隅田川)	あらかわエコフレンド	押川賢次郎	○	6月7日	日	中止							
6	葛飾区	木根川橋上流左岸 New	(株)新生銀行 New	柴崎栄二	×	4月11日	土	9:15	晴	82	0	82	152	51	
2	葛飾区	木根川橋下流左岸	国土交通省荒川下流河川事務所	佐藤信行	×	2月13日	金	14:30	曇	34	0	34	96	25	
9	葛飾区	木根川橋下流左岸	ブルームバーグ L.P.	野口有紀	×	4月22日	水	10:00	晴	7	0	7	19	12	
14	葛飾区	葛飾水辺公園水辺ゾーン付近	あらかわミズガキ隊	橋本浩基	○	5月17日	日	中止							
15	墨田区	四ツ木橋上流右岸	(株)エックスワン	橋本博人	○	5月23日	土	10:00	快晴	119	0	119	94	34	
17	墨田区	木根川橋上流右岸	都立日本橋高等学校 1学年	和田秀幹	×	5月27日	水	13:40	晴	250	0	250	67	28	
7	江戸川区	総武線下流右岸	下平井水辺の楽校	中嶋美南子	○	4月12日	日	10:00	晴	19	14	33	13	9	
18	江戸川区	小松川橋上流右岸	荒川クリーンエイド・フォーラム	佐藤正兵	○	6月4日	木	10:00	曇時々晴	20	0	20	17	15	
1	江戸川区	船堀橋上流右岸	江戸川区立小松川第二小学校5年生 New	加藤寛之	×	2月9日	月	9:15	曇	27	160	187	82	20	
5	江戸川区	船堀橋上流右岸	日興シティビジネスサービス(株) New	関下昌代	×	4月4日	土	9:30	晴	70	0	70	84	21	
16	江戸川区	船堀橋～荒川ロックゲート	[24時間テレビ]チャリティー委員会、荒川クリーンエイド・フォーラム	橋本美紀	○	5月23日	土	9:30	晴	212	56	268	244	59	
4	江戸川区	平井大橋下流中土手	葛飾区立小松南小学校6年生	立澤国一	×	3月10日	火	13:30	曇	4	79	83			
25	江戸川区	葛西海浜公園東なぎさ	NPO法人えどがわエコセンター自然部会	中嶋美南子	○	6月27日	土	10:00	晴	38	5	43	40	16	
27	江東区	東西線下流右岸	りそな銀行 首都圏地域	佐藤隆広	×	7月4日	土	10:00	曇時々晴	367	40	407	189	10	
30	江東区	清砂大橋下流右岸新砂干潟	江東エコリーダーの会	阿部美和	×	7月25日	土	13:00	晴	28	14	42	18	3	
(計30会場中23会場で実施)										春(1～8月)合計	1,746	422	2,168	1,498	427

9～12月合計	5,047	2,673	7,720	2,940	1,114
1～8月合計	1,746	422	2,168	1,498	427
総合計	6,793	3,095	9,888	4,438	1,541

荒川クリーンエイドでは、ゴミを種類別に数えながら拾います。特に水際には、そこで捨てられたゴミばかりでなく、風に飛ばされたり、不法投棄など、さまざまなルートで川に入ったものが流れて来た「漂着ゴミ」が多く、ありとあらゆるゴミの集積場となっています。

グラフ4 散乱ゴミ2009ワースト20ランキング



注：データは拾ったゴミの内訳であり、河川敷や水際に存在するゴミの割合を正確に反映するものではありませんが、一定の傾向を見ることができます。

そういったゴミの統計を社会に発信することで、ゴミの発生を抑え、ゴミのない社会の実現を目指しています。

1. ありとあらゆるゴミが集積する荒川の河川敷・水際

荒川には、家庭のゴミ箱にあるようなありとあらゆる生活ゴミが集積しています。(グラフ4)これらのゴミはヨシ原や干潟を覆い、そこに棲む生き物たちの生活環境を脅かしています。



ヨシ原を覆うペットボトル



干潟に埋まるゴミ

2. 河川環境に悪影響を与える、プラスチック類の破片

「破片」のゴミが上位にランクされています。プラスチック類が自然の中に放置され続けると破れたり砕けたりして微細化し、回収が困

プラスチックの破片が生態系に与える影響

生分解性のないプラスチックは、自然に還ることなくいつまでも環境中に存在し続けます。そして、微細化することにより、川や海の生態系に更なる悪影響を与えています。

1. 微細化し、回収が困難 プラスチックは環境中に放置されると、水流や風、紫外線などの影響でどんどん劣化し、細かく砕けていきます。細くなればなるほど拡散しやすく、回収が困難となるばかりでなく、目立たなくなるため問題視されにくくなるのも困った点です。

2. 魚や鳥による誤飲 生き物たちは、本来えさでないものを間違

えて飲み込んでしまうことがあります。プラスチックは、ごく小さなものを除いては消化も排泄もされないため、消化器に異物として溜まり続け、必要な栄養が取れなくなって衰弱したり、死んでしまうこともあります。

3. 化学物質を吸着、食物連鎖による影響 環境中を浮遊するプラスチック片には、内分泌かく乱作用が疑われるダイオキシンなどの化学物質が吸着している場合があります。これら化学物質が食物連鎖の下位にいる生き物により摂食されると、食物連鎖により、川や海の生態系、そして人間にまで影響が及びかねません。

(参考：JEAN/ クリーンアップ全国事務局ホームページ)

難となるばかりでなく、鳥や魚などがえさと間違えて飲み込み衰弱するなど、河川や海的环境に悪影響を与えています。



荒川に集積する破片ゴミ

3. ゴミの約2/3は土に還らないプラスチックゴミ、容器包装

素材別構成比によると、発泡スチロールを含め、土に還らないプラスチック系のゴミが65%、容器包装類の割合では、「容器包装」(入れ物や包み)が72%を占めています。(グラフ5、6)

4. タバコのすいがらは著しく減少、ペットボトル、飲料ピンは増加

1999、2004、2009年と5年ごとの散乱ゴミ回収数の変化を見ると、タバコのすいがらが著しく減少していることがわかります。

一方、参加者数が2003年からほぼ一定していることを考えると、ペットボトル、飲料ピンは増加しているといえます。(グラフ7)

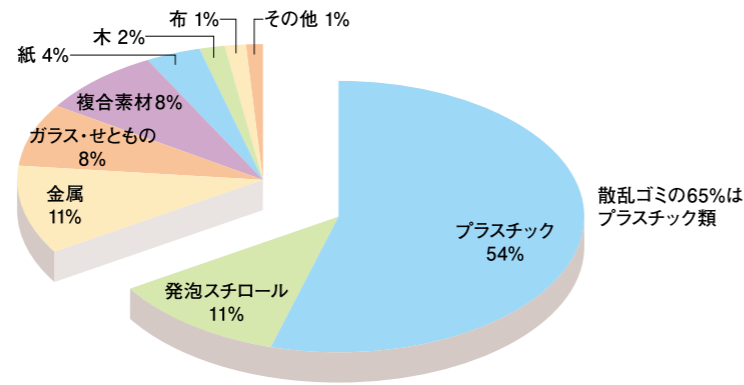
5. 注射器の急増

注射器は、2006年にはじめて「その他」として上がって以来急増しています。今年是小松川橋右岸(春No.18)で大量に回収され(約300個)、新たに実施した会場で多数回収されましたが、下流域では全域にわたり多くの会場で回収されています。(グラフ8)

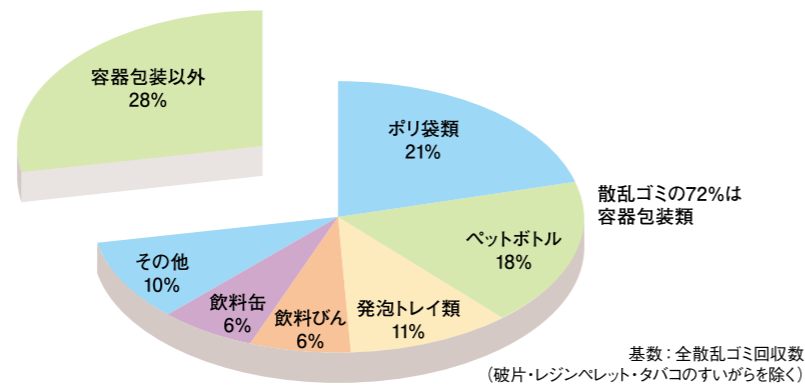
今秋台風が多かったため、中流域で不法投



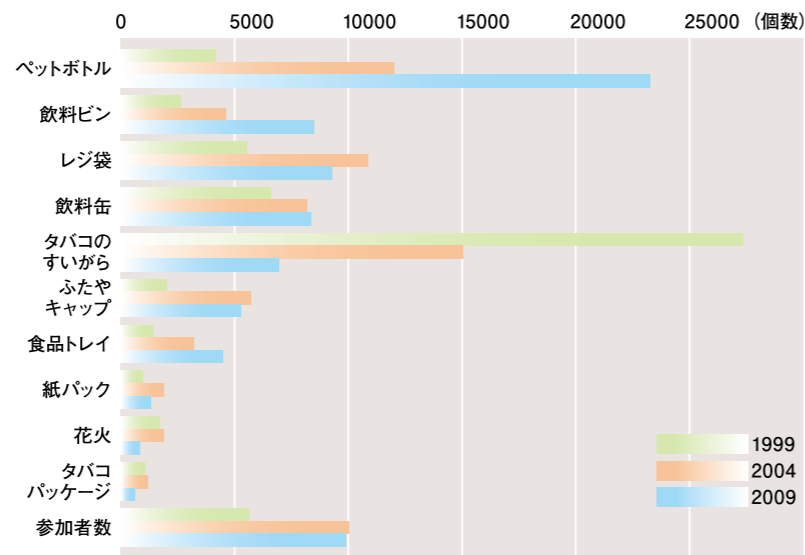
グラフ5 素材別構成比(散乱ゴミ)



グラフ6 容器包装類の割合(散乱ゴミ)



グラフ7 主な散乱ゴミ回収数の変化



荒川下流域で回収された注射器

グラフ8 注射器の回収数の推移

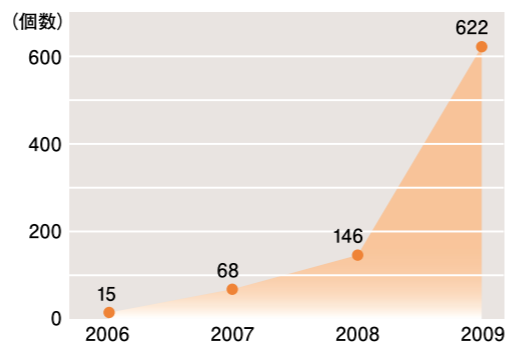
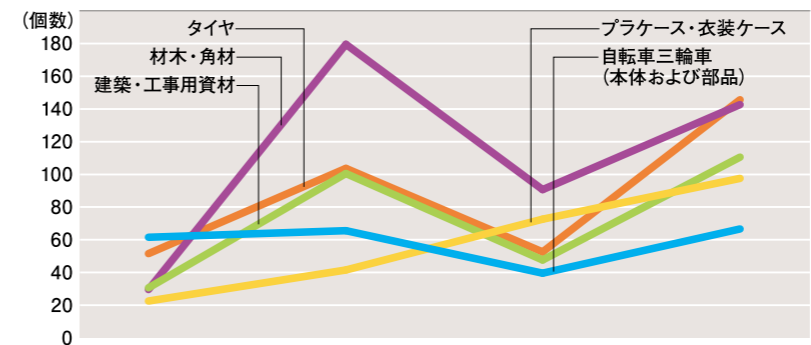


表2 粗大ゴミ2009ワースト15ランキング

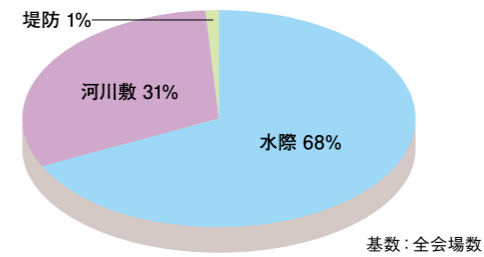
順位	品目	個数
1	タイヤ	115
2	ブラケース・ブラカゴ(衣類ケース)	79
3	傘	71
4	材木・角材	65
5	自転車・三輪車(本体または部品)	58
5	建築・工所用資材	58
7	バイク(本体または部品)	32
8	布団・マットレス	31
9	コーン(工専用道路標識等)	25
9	発泡スチロール箱	25
11	プラスチック以外のカゴ・箱類	24
12	アウトドア用品・テント	22
12	音響機器・ラジカセ	22
14	プリンターボックスなど大型園芸用品	21
15	ブラウン管テレビ	20

グラフ9 粗大ゴミワースト5の回収数の推移

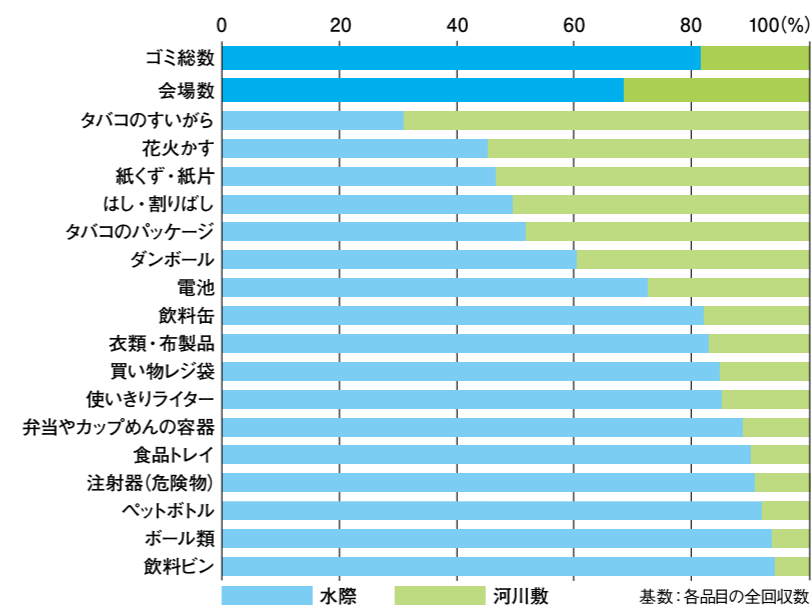


注: 1)2007年は、特に頻繁に長時間ゴミ拾いを行う団体の参加により、粗大ゴミ回収数が全体的に多くなっている。
2)2009年3位の「傘」は、2008年まで散乱ゴミとしてカウントされていたので除いた。

グラフ10 主に拾った場所



グラフ11 水際vs河川敷のゴミの違い(散乱ゴミ)



棄されたものが下流部に大量に流れて来た可能性もあります。不法投棄数そのものが増えているか否かについては明らかではありません。河川敷で回収される注射器の多くは、薬物用に使われ、証拠を隠すために川に捨てられたものと考えられています。(小松川警察所銃器薬物係より聴取)

6. 粗大ゴミ: 増えるプラスチックのケース・カゴ

粗大ゴミの調査用紙を改訂した2006年からの変化を見ると、この4年間、ワースト5は変わっていません。その中で、プラスチックケース・カゴは徐々に増加傾向にあります。



プラスチックケース



粗大ゴミを運ぶ

7. 拾った場所「水際 vs 河川敷」

全会場のうち約2/3は、主に水際でゴミ拾いを行いました。

河川敷のゴミは、主にその場で捨てられたものと考えられます。水際よりも多く拾われたのは、タバコのすいがら、花火かす、紙くず・紙片など。

一方、水際には、その場で捨てられたものよりも「漂着ゴミ」の方がはるかに多いと考えられます。河川敷よりも多く拾われたのは、飲料ビン、ボール類、ペットボトル、注射器、食品トレイなどでした。

河川敷だけでなく水際でゴミを拾うことで、ヨシ原や干潟の保全、ひいては河川環境の保全につながるといえます。

会場 実施団体名 No	主に拾った場所	散乱ゴミワースト5					
		ワースト1位	個数	ワースト2位	個数	ワースト3位	個数
61 松山油脂(株)	水際	その他発泡	1,395	ペットボトル	536	その他袋	518
65 小松川平井連合町会	堤防						
64 (株)ローソン	河川敷	袋破片	564	タバコ	477	紙	298
37 下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラム、三井ボランティアネットワーク事業団	水際	ブラ破片	235	発泡破片	173	袋破片	132
67 江戸川区立平井東小学校							
66 江戸川区立平井小学校	水際	その他ブラ	64	発泡破片	46	ポリ袋	27
78 (株)藤商事	水際	タバコ	322	ガラス片	204	飲料缶	184
68 東京東江戸川ロータリークラブ	水際	袋破片	1,106	ポリ袋	946	レジ袋	881
38 江戸川生活者ネットワーク、ガールスカウト第215団	水際	ペットボトル	332	ポリ袋	222	その他ブラ	200
75 ブルームバーグ L.P.	水際	袋破片	501	ブラ破片	409	ペットボトル	265
69 日本アイ・ピー・エム(株)	水際	ペットボトル	969	飲料ビン	503	その他袋	498
70 シティグループ	水際	ペットボトル	263	レジ袋	223	その他発泡	158
60 ブルームバーグ L.P.	水際	発泡破片	640	ペットボトル	592	袋破片	338
39 中土手に自然を戻す市民の会	河川敷	袋破片	54	ペットボトル	49	ポリ袋	43
63 江戸川区立大杉小学校	河川敷	紙	1,534	ポリ袋	51	タバコ	38
40 江戸川区土木部、えどがわエコセンター、江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ	水際	ブラ破片	445	ペットボトル	394	飲料ビン	294
71 江戸川区立西葛西中学校	水際						
77 江戸川区立西葛西中学校	水際	ボール類	43	ペットボトル	32	その他ブラ	31
43 葛西東渚・鳥類園友の会	水際	ブラ破片	345	ペットボトル	250	飲料ビン	195
41 Jambo International Center	水際	ペットボトル	240	飲料缶	150	フタ	100
81 Jambo International Center							
42 江東区土木部水辺と緑の課	河川敷	袋破片	219	発泡破片	189	ポリ袋	185
72 江東エコリーダーの会	水際	袋破片	175	ペットボトル	148	発泡破片	96

水際 河川敷 中止またはカウントせず

■ワースト・ゴミ2009(春1~8月) =上→下流順=

会場 実施団体名 No	主に拾った場所	散乱ゴミワースト5					
		ワースト1位	個数	ワースト2位	個数	ワースト3位	個数
21 富士ゼロックスシステムサービス(株)	水際	ペットボトル	502	飲料缶	213	ポリ袋	192
13 いたばし野鳥クラブ、板橋水辺を楽しむ会、NPO法人センスオブアース	河川敷	袋破片	201	電池	69	タバコ	65
29 緑川を豊かな環境にする会							
23 MAPかわぐち 芝川プロジェクト実行委員会							
8 荒川夢クラブ	河川敷	タバコ	44	袋破片	34	ポリ袋	11
10 (財)埼玉県生態系保護協会川口支部							
22 北区水辺の会	水際	飲料缶	169	タバコ	144	ペットボトル	109
26 日本ボーイスカウト東京連盟北地区第11団	河川敷	タバコ	82	レジベレット	52	花火	38
24 荒川下流河川事務所	水際	ペットボトル	396	飲料缶	197	袋破片	181
19 尾久の原愛好会	水際	紙製品	65	ポリ袋	63	タバコ	33
12 NTT労働組合東京グループ連絡協議会	水際	発泡破片	2,622	袋破片	1,431	ブラ破片	1,204
3 荒川区立第七映田小学校6年生							
11 荒川クリーンエイド・フォーラム	水際	袋破片	23	ポリ袋	23	紙	16
20 足立学園中学校							
28 あらかわエコフレンド							
6 (株)新生銀行	水際	ペットボトル	1,956	発泡破片	767	飲料ビン	485
2 国土交通省荒川下流河川事務所	水際	ペットボトル	1,122	発泡破片	615	飲料ビン	456
9 ブルームバーグ L.P.	水際	発泡破片	391	その他発泡	210	ペットボトル	193
14 あらかわミズガキ隊							
15 (株)エックスワン	水際	発泡破片	817	ペットボトル	526	その他ブラ	333
17 都立日本橋高等学校 1学年	水際	ペットボトル	848	飲料ビン	135	ボール類	105
7 下平井水辺の楽校	水際	発泡破片	87	ポリ袋	60	袋破片	54
18 荒川クリーンエイド・フォーラム	水際	注射器	300	飲料缶	85	ポリ袋	47
1 江戸川区立小松川第二小学校5年生	水際	ポリ袋	547	袋破片	447	レジ袋	333
5 日興シティビジネスサービス(株)	水際	袋破片	915	ペットボトル	865	発泡破片	682
16 「24時間テレビ」チャリティー委員会、荒川クリーンエイド・フォーラム	水際	袋破片	2,265	その他ブラ	1,485	ペットボトル	1,399
4 葛飾区立小松南小学校6年生	河川敷						
25 NPO法人えどがわエコセンター自然部会	水際	ブラ破片	293	ペットボトル	150	飲料ビン	88
27 りそな銀行 首都圏地域	水際	ブラ破片	1,046	袋破片	791	ポリ袋	559
30 江東エコリーダーの会	水際	ポリ袋	30	袋破片	29	ペットボトル	20

ワースト4位	個数	ワースト5位	個数
その他ブラ	489	ポリ袋	424
ブラ破片	237	その他ブラ	225
ペットボトル	103	その他ブラ	82
フタ	26	ライター	20
ペットボトル	169	紙	142
ブラ破片	687	その他ブラ	672
袋破片	166	食品トレイ	109
ポリ袋	169	レジ袋	137
袋破片	439	ポリ袋	433
ポリ袋	103	飲料缶	83他
ポリ袋	247	レジ袋	226
紙	36	その他ブラ	31
ペットボトル	26	レジ袋	23
その他発泡	201	発泡破片	190
弁当容器	15	飲料ビン	15
発泡破片	129	その他ブラ	102
発泡破片	70	その他ブラ	36
ブラ破片	156	フタ	148
フタ	73	ブラ破片	49

粗大ゴミワースト3			
ワースト1位	個数	ワースト2位	個数
タイヤ	2	ブラ衣類ケース	2
		消火器	2
ブラ衣類ケース	4	タイヤ	3
ブラ衣類ケース	2	自転車部品	2
		材木・角材	2
バッテリー	1		
傘	12	工事資材	5
材木・角材	22	家具	6
材木・角材	5	その他業務用	4
自転車部品	3	調理家電	3
材木・角材	20	ブラ衣類ケース	4
その他業務用	3	バイク部品	1
材木・角材	5	ブラ衣類ケース	4
		漁具	4他
自転車部品	1	畳・ござ	1
材木・角材	2	コーン	2
タイヤ	5	材木・角材	5
タイヤ	1	バイク部品	1
		布団	1他
その他家電	1	ブラウン管テレビ	1
タイヤ	1	コーン	1
		標識・看板	1他

粗大ゴミワースト3			
ワースト1位	個数	ワースト2位	個数
タイヤ	3	布団	2
家具	2	大型シート	1
		照明器具	1他
		ベビーカー	1他
タイヤ	2	発泡スチロール箱	2
		自転車部品	1他
タイヤ	26	その他業務用	10
畳・ござ	1	自転車部品	1
ブラ衣類ケース	5	コード・ケーブル	4
		タイヤ	3他
コーン	7	ブラ以外のごみ・箱類	7
タイヤ	6	その他の乗り物	5
バイク部品	2	タイヤ	2
		材木・角材	2
自転車部品	4	健康器具	4
ブラ衣類ケース	7	木枠	5
ブラウン管テレビ	3	バイク部品	2
タイヤ	4	ブラ衣類ケース	3
ブラ衣類ケース	4	消火器	3
ブラ衣類ケース	6	工事資材	3
材木・角材	10	ブラ衣類ケース	8
		自転車部品	7
タイヤ	3	ガスボンベ	2
材木・角材	4	ブラ衣類ケース	3
タイヤ	3		
		ゴルフ	1他

クリーンエイドの一年

秋のクリーンエイド、通年クリーンエイドは以下のような年間スケジュールで実施されています。



秋のクリーンエイド実施説明会



春の体験会～実施手順の説明



秋の体験会～ふりかえり



荒川クリーンエイド2009報告会



荒川クリーンエイド2009報告会～10年後の荒川について発表

連絡会

3月15日(土)に連絡会を実施し、次年度の計画や方向性について、実施団体や会員の皆さんと共有しました。

クリーンエイド実施説明会

4月25日(土)と9月26日(土)に、クリーンエイド会場リーダーを対象に、クリーンエイド実施説明会を開催しました。

実施までの準備、当日の運営方法、安全管理、ゴミの処理方法、報告書式の記入の仕方など、スムーズに会場運営を進められるようガイダンスを行っています。

4月の開催は今年初めての試みで、近年増

えている5～7月の実施に対応したものです。

体験会

春と秋、実施説明会の午前中に、クリーンエイドをはじめて実施するリーダー、その他関心を持たれている皆さんに、クリーンエイドの実施手順を体験いただく「みんなのクリーンエイド」を開催しました。

秋の回では、都立白鷗高校の生徒の皆さんや企業のCSR担当、市民団体、子どもエコクラブなど40名の参加で、河川ゴミの状態を実感しながら、リーダーとしてのポイントを確認しました。

水辺の安全セミナー

クリーンエイド会場のリーダー、環境学習や水辺の活動の指導者等を対象に、水辺の安全セミナーを開催しています。今年は7月5日(日)に行いました。(P40参照)

荒川クリーンエイド2009報告会

12月5日(土)、春秋のクリーンエイド会場リーダーにお集まりいただいて、クリーンエイド2009の成果をふりかえる報告会を開催しました。

まずは、事務局より荒川クリーンエイド2009の概況を報告、各会場より実施報告をいただ

いた後、意見交換、最後に「10年後の荒川はどうなっていて欲しいか」をテーマにワークショップを行い発表し合いました。

意見交換では、クリーンエイド活動がムーブメントとして更に広がるためにはどうしたらよいか、ゴミの分別方法についてなど、多くの有意義なご意見をいただきました。

「10年後の荒川」については、子どもたちが安心して遊べる川、泳げる川、癒しの場としての川、たくさんの魚が行き交う川、ゴミのない川、地域の人々が愛着を持って関わる「里川」の復活など、大いに夢がふくらみました。

企業、市民団体、学校、自治体、行政などさまざまなセクターが集い交流する貴重な機会となりました。

クリーンエイドの一日

主催団体や地域に合わせていろいろな工夫をして有意義な一日となるよう運営されています。

荒川クリーンエイドは、多くの会場で以下のように実施されています。



事前説明

きれいにする (clean) + 助ける (aid) といった、荒川クリーンエイドの社会的意義や、数えるゴミ拾いの意義をまず、参加者に伝えます。そして実際にどのように数えながら拾うかなどの実施方法を説明します。

ゴミ拾い

5～6人のグループに分かれ、調査カードを使って種類別に数えながらゴミを拾います。記録者は調査カードに「正」の字を書きながらグループのメンバーが拾ったゴミを一つひとつ記録していきます。粗大ゴミも運び出せるものは力を合わせて回収します。



調査カードに記録

ゴミ袋集計

集めたゴミ袋を色別に1か所にまとめ、数を数えます。



ゴミ袋集計

まとめ・ふりかえり

ゴミ拾いをしながら気づいたことや感じたことをグループで話し合い、その後皆で共有します。ゴミがなく自然豊かな荒川のためにできることを参加者皆で考えます。



ふりかえり

記念写真撮影

集めたゴミを前に全員で記念写真撮影！この日の成果を実感します！



集合写真

実施会場によって、クリーンエイドと共に以下のようなことも実施しています。



水質調査

バックテストや透視度計を利用して、水質調査を実施し、川の水の状況を調べています。(水質調査結果についてはP30～32参照)

参加認定書授与

荒川クリーンエイドでは、参加してくれた子どもたちに「荒川クリーンエイド参加認定書」を渡しています。子どもたちの参加を称え、セレモニーとして手渡ししている会場もあります。



お楽しみイベントいろいろ

他にも楽しいイベントなどで、川に親しむような工夫が各所で行われました。



【野外料理・昼食会】

青空の下、河川敷で昼食をとるのも気持ちのよいもの。話はずみです。トン汁、すいとん、焼き芋などを作って食べた会場もありました。



【自然観察会】

自然体験プログラムで、水際や河川敷にいるカニや昆虫、植物を五感で感じます。他にも投網で獲れた魚を見たり触ったり、野鳥観察などで、荒川の自然に親しみます。



【クイズ、草刈り、その他】

「荒川ウルトラクイズ」で楽しく川の知識を得たり、草刈りをして河川敷の自然管理の手助けをすることなどが行われました。

サポート・サービス

荒川クリーンエイドは、各実施団体により主体的に運営されていますが、希望により、以下のようなサポート・サービスを提供しています。

クリーンエイド実施サポート

クリーンエイドをはじめて実施される企業等に、ご希望に応じてクリーンエイドの実施サポートを提供しています。初回はサポートを受けて実施し、次回以降は主体的な実施をお勧めしています。

2009年は、(株)エックスワン、NTT労働組

個別に実施説明

クリーンエイド実施までの準備や当日運営等について個別に説明します。



会場下見の同行

会場下見に同行し、実施会場を確認、当日運営・安全面などのアドバイスをします。



当日サポート

インストラクターが、参加者へのクリーンエイド手順の説明や、ゴミの回収・報告書式記入の指導等を行います。

自然環境教室

クリーンエイドの後に、専門の指導員を中心とするスタッフにより、荒川の自然をご案内する自然環境教室を開催しています。

今年は、24時間テレビ、NTT労働組合東京グループ連絡協議会、新生銀行グループ、日本アイ・ビー・エム(株)、三井住友海上メットライフ生命保険(株)の会場で行いました。



日本アイ・ビー・エム(株)での自然環境教室の様子。荒川で魚が獲れるんだ、と驚きの声。

合東京グループ連絡協議会、韓国仁川国際高校、シティグループ、新生銀行グループ、新生フィナンシャル(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、都立白鷗高校、都立日本橋高校、富士ゼロックスシステムサービス(株)、ブルームバーグL.P.、三井住友海上メットライフ生命保険(株)、りそな銀行首都圏地域のサポートをさせていただきました。

自然環境教室スタッフ

【企画・運営、自然案内全般】



橋本 浩基

環境教室全体の企画・運営、魚・昆虫・植物などのガイド、自然体験プログラムなど。(財)日本自然保護協会自然観察指導員、東京都環境学習リーダー、プロジェクト・ワイルドエドゥケーター、荒川クリーンエイド・フォーラム理事。

【野鳥観察ガイド】



栗林 菊夫

四季折々の水辺の野鳥をご案内しました。(財)日本野鳥の会会員、いたばし野鳥クラブ会長、荒川自然連絡会代表、荒川クリーンエイド・フォーラム副代表理事。

【投網(とあみ)の実演】

投網とは、網を投げて魚を獲る伝統的な漁法。専門スタッフが投網を披露し、獲れた魚をご紹介します。



石川 勉

荒川クリーンエイド・フォーラム運営委員



佐藤 正兵

荒川クリーンエイド・フォーラム代表理事

クリーンエイドを活用した新入社員研修プログラム

荒川敷でのクリーンエイド体験(ゴミ拾い・ゴミ調査)を中心としたこのプログラムは、チームワーク力、環境保全意識、問題解決力、社

事前研修(講義)

クリーンエイドの社会的な意義や、荒川ゴミが生態系に及ぼす影響など、クリーンエイド実習を実りあるものとするための講義を行います。



クリーンエイド実習

(ゴミ拾い・ゴミ調査)

荒川河川敷で、グループに分かれて種類別に数えながらゴミを拾って、ゴミや自然環境の現状に触れます。



事後研修

(ワークショップ、レポート提出等)

ゴミから社会問題を考え、企業と社会のつながりや企業活動に活かす方策などを考えます。

2009年はレポート提出を行いました。

会性の育成に効果があると好評をいただいています。

(株)新生銀行、日興シティビジネスサービス(株)、日本テレビ「24時間テレビ」チャリティー委員会が実施いただきました。



荒川のゴミの現状に関心を寄せる新入社員の皆さん(株)新生銀行

マスコミが実践する環境保全活動 + 新入社員研修 + 企業と市民との交流 = 24時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション」

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、2008年より日本テレビの「24時間テレビ」チャリティー委員会との共催によるクリーンエイド活動を行っています。

この活動は、「24時間テレビ」チャリティー委員会が地球環境保護支援の一環として行っているもので、日本テレビの新入社員がグループ・リーダーとなり、一般公募した市民と触れ合いながらゴミ拾いを実施。活動の様子は24時間テレビチャリティーレポートなどで放映され、身近な川でのゴミ拾いが地球環境の保全につながることを広く知っていただく機会となりました。新入社員の皆さんからは、次のような感想が寄せられ、新入社員研修としても効果を上げていることがうかがえます。



左●一般公募の参加者と共にゴミを拾う新入社員の皆さん 右●総勢約270人で実施した「荒川クリーンエイドアクション」

【新入社員の声】

- ヨシの茂みの中、たくさんのゴミが溜まり水を汚している現場を目の当たりにして、エコというものを深く意識させられました。
- 小さい子どもからお年寄りまで、たくさんの人たちが積極的にゴミ拾いをする姿はすごく素敵だったし、様々な面で自分も頑張らないといけない、という気持ちになりました。
- 大都会「東京」で自然を身近に感じられた一日でした。思っていた以上にゴミはたくさんありましたが、それ以上に川辺にはたくさんの生き物がいることに驚きました。
- 楽しそうにゴミを拾う子どもたちの表情が印象的でした。未来ある子どもたちのために、きれいな地球を残していかなければいけないと思いました。

荒川クリーンエイドの仲間たち

各団体の概要や実施されての感想などを紹介します。(秋→春各会場No.順)

2 秩父こどもエコクラブ

秩父こどもエコクラブは、主にハイキング、自然観察、カヌー教室や落ち葉・枯れ木・流木・石等を材料としたアート等の活動を通して、自然を学び自然を大切にすることを育てること、また、ボランティア活動によりボランティア精神を育てることを目的としています。

3 NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会

今年で12回目を迎えた「荒川の恵と熊谷を考える集い」も無事終了したところですが、相変わらずゴミの不法投棄があり、ゴミの量も減っていません。荒川上流河川事務所にも具体的な防止方法を強くお願いすべきとの声が沢山ありました。

4,5,6 鴻巣の環境を考える会

秋晴れの下で、楽しいクリーンエイドができました。感謝感謝。午前8時30分、糠田グラウンドに全員集合し、ゴミ拾い、水質調査。次いで、上流の大芦橋、下流の御成橋方面へと、ゴミ拾いと水質調査隊は移動しました。川幅日本一荒川の袂で、締め報告書作成までやりました。午後2時解散！！

7 市野川水系の会イン滑川町

滑川町羽尾地区を縦断して流れる平凡な川ですが、自然的価値を東松山の県土整備事務所、比企の川づくり協議会の皆さん等により見だして頂き、地元有志で改めて自然を学び保護しようと集まった会です。クリーンエイドの参加はまだ少数ですが、おおいに期待されています。



- 市民団体
- 自治体・行政
- 企業
- 学校
- 学校以外の子ども関係

荒川クリーンエイド2009は、市民団体、自治体、企業、学校、子ども関係など様々な団体のみなさんにより実施されました。

8 荒川流域ネットワーク

「いきいき荒川応援隊」の方が今年も参加し、総勢20名で大量のゴミの撤去に取り掛かることができました。半分土砂に埋まり、まだまだ回収できないゴミも多く、また昨年回収したのがそのままになっているゴミもあった。今年も様々な業者が捨てたゴミがあり、内容が不明の化学的廃棄物などもあった。さらに大勢で撤去に取り組みたいと思う。



9 荒川の自然を守る会

当会は1991年から、生まれ育った荒川中流の自然を次世代に残したいと三ツ又沼ビオトープや上尾市周辺を中心に活動しています。

毎年10月には洪水の後のゴミを片付ける活動を入れています。昨年・今年と河川敷が冠水する洪水は起きていません。しかし永年積もっている洪水によって流されてきて片付けられないゴミが堆積しています。また、当たり前のように建築廃材やリフォーム工事で出たと思われる



ゴミを毎年投棄され困っています。
□以前からのゴミ：建設廃棄物 水路両側地帯のテレビや缶類 ガラス瓶 プラスチックゴミ タイヤなど
□最近捨てられたゴミ：冷蔵庫 個人で来た人のゴミ類など

11 市民による大谷川クリーン大作戦

市のクリーンデーと同日に市内3カ所で行われた。地域の清掃が終わった後駆けつけた皆様も多く、五味ヶ谷の会場には今年も40名を超える地元の人が駆けつけ、活動が定着してきたようだ。また、今年から範囲を広げた藤金会場にロータリークラブの人たちが新たに参加してくれるようになり、さらに広がりを見せていることは、嬉しい限りである。以前に比べ、川の中や周辺のゴミは徐々に少なくなってきたようだが、まだ手つかずの所も多く、いかにして活動を広げるかがこれからの課題である。



10 NPO法人はとやま環境フォーラム



13 不老川流域川づくり市民の会



22 北区まちづくり部道路公園課



34 東京損害保険代理業協会

14 黒目川クリーンエイド実行委員会

黒目川クリーンエイド実行委員会は東久留米・ホテルを呼びもどす会と東久留米ほとけどじょうを守る会及び八幡町川クラブの市民とで継続しています。最近では東久留米総合高校の生徒が若い力を発揮してくれています。今年は市内の少年野球連盟も川の清掃活動実施に参加。市内周辺の道路のゴミが風に吹かれて地元の湧水を水源として市内を流れる川に入り散乱ゴミとなり、荒川に流れ更に東京湾と海まで流れている事を多くの方に知ってもらった機会となりました。都市部に川の源流を持つ東久留米市に「湧水清流保全都市」の宣言を目指す市民としてもこれからも海との連携をアピールしていきます。



16, 春13 いたばし野鳥クラブ

朝は雨で心配の上、中国留学生が参加すると電話があり、食事の量を心配しました。昼食中は学生とカブスカウトの交流もありました。晴れていれば、企業も加わり大いに盛り上がったと思います。クラブの半数は食事作りなどの裏方に回り、食後は植物観察も行いました。

19 (財)埼玉県生態系保護協会川口支部

子どもたちに、生き物のたくさんいる自然を残そうと活動しています。カエルやトンボが生活できる池のある「河原町原っぱ」で年10回自然観察会や自然管理をしています。クリーンエイドでは、河川敷のゴミは減りましたが水際は山盛りでした。でもカニと遊びながら楽しくやりました。

29 足立区

足立区の「クリーン荒川」活動報告

足立区土木部みどり公園推進室長付 公園整備課荒川利用係

足立区にとって荒川は、区内面積の1割近くを占め、重要な緑地の一つとなっています。

荒川は、ワンドや干潟など自然観察の場として、野球、サッカーなどスポーツの場として、また、花火大会の会場、防災訓練の場として多くの区民の皆さんに活用されています。

そんな荒川をきれいにしようと、荒川クリーンエイドの一環として、区では毎年、区民の皆さんを中心にボランティアでの清掃活動を続けています。

今年は区の広報、ホームページのイベント欄のほか、区長ブログ欄での呼びかけをしました。場所は荒川左岸の千住新橋と千代田線鉄橋の間に挟まれた五反野ワンド。8時半に10団体、及び個人参加も含めて約450人も区民の方が集合し、最初に区長から「一緒にゴミを拾いましょう」と挨拶の後、一斉に作業を開始しました。参加された皆さんは、積極的にヨシ原や草地に入りゴミ拾いをされていました。特に水際はゴミが多く、2枚目の袋を取りに来られる方や、大

20 北区水辺クラブ

北区・子どもの水辺協議会の一市民活動団体として、先達「北区水辺の会」の教えを受けながら子どもの水辺を中心に水辺の楽校を推進し、より良い荒川の自然を回復する地域貢献を目的とします。実施直前に、台風通過による出水騒ぎがあったので、水質につき面白いデータが得られたでしょう。

21, 春22 北区水辺の会

「北区・子どもの水辺」で、毎月第3土曜日09:00～14:00まで、水辺清掃・水質調査・周辺観察、保全作業、学習協力などを実施、微力ながら自然環境向上に取り組んでいます。春は、高校生の参加があり賑やか！？秋は、静かに少人数！？季節なりの年でした。



きなゴミを誇らしげにもってくる小学生たちが大変印象的でした。ユニホーム姿の小学生たちも大きなゴミ袋をたくさんかかえて、普段自分たちの使っているグラウンドをきれいにするという意気込みでいきいきと活動していました。また、個人参加のみなさんもグループ作業を通じてゴミを拾ってもどって来る頃には、にこやかな笑顔で達成感をお互いに共有されているようでした。

ゴミ拾いが終了する頃、荒川ビジターセンターの解説員により、荒川の水質調査と併せて生きものの生息環境などの解説を行いました。参加された方々は、パックテストを楽しみながら、川をきれいにしていく意義などを考える機会となったようでした。

クリーン荒川で拾ったゴミは、昨年が45袋でしたが、おかげさまで今年は124袋。きれいな荒川を取り戻しました。荒川に感謝の気持ちをもって、「みんなで利用する荒川を利用者の手できれいにしていく」という意識が高められるよう、今後、この「クリーン荒川」の活動を区民と協働して実施していきたいと考えています。

23, 春26 日本ボーイスカウト 東京連盟北地区第11団

クリーンエイド活動は、ボーイスカウト東京北11団の年間プログラムに定着され年2回を確実に実施しています。その中でスカウトたちの



進級・進歩につながるように課題を作り楽しんで消化しています。その結果「ゴミを捨てる人より、ゴミを捨てない人」に育つように願いながらこれからも続けていきたいと指導者一同思っています。

27 台東区教育委員会 青少年・スポーツ課

台東区教育委員会青少年・スポーツ課が管理する荒川河川敷運動公園運動場では、少年野球連盟やサッカー連盟の子どもたちが「荒川クリーンエイド」を手伝ってくれました。ゴミを拾うことがどんなに大変か、また、環境問題について少しの時間でしたが考えてくれたと思います。是非来年も参加したいです。

	市民団体		学校
	自治体・行政		学校以外の子ども関係
	企業		

25,26 荒川区教育委員会社会体育課

少年運動場(扇大橋)と西新井橋野球場で実施しています。荒川区軟式野球連盟、サッカー協会を中心に参加していただいています。子どもたちはグループを作り一懸命にゴミを拾いながら集計用紙に記入しています。クリーンエイドに参加することにより「ゴミを捨てない大人」になることを期待しています。



子どもたちはグループを作り一懸命にゴミを拾いながら集計用紙に記入しています。クリーンエイドに参加することにより「ゴミを捨てない大人」になることを期待しています。

31 隅田川市民交流実行委員会

私たちは、隅田川水系全体の自然環境保全・育成の活動をしており、「白魚が棲み、子どもたちが水辺で遊び泳げる清流隅田川」になることを最終目標としています。年間を通じて様々な活動をしていますので、隅田川に関心・興味ある方は是非ご参加を!!



32,33 荒川を考える葛飾区民会議

荒川を考える葛飾区民会議は、荒川を持つ様々な価値や機能について知識を深め、これを守り育てることを活動の目的に公募された区民と区、国の職員で構成されています。荒川クリーンエイドについては、沿川の



沿川の小中学校や野球連盟等からの参加が年々増えており、これらにつながる有意義なクリーンエイドでした。

39 中土手に自然を戻す市民の会

荒川中土手(総武線下流)に雨水のたまる池(ピオトープ)を作り、そこにどのような自然が戻るか、毎月1回作業と観察会を続けている。会員約60名、近隣の小学校数校が環境学習で利用し、そのサポートも行っている。毎回トン汁作りと5月の連休には竹の炭焼きも行っている。



37, 春7 下平井水辺の楽校

下平井水辺の楽校は、平井地域の子どもを中心に月1回活動しています。川とのつきあい方と川の周りの自然と友達になる楽校です。遊びのはじめにゴミ拾いをし、遊び場所をきれいにします。見た目はきれいな草地なので、タイヤやバイク等はみんなで綱引きして協力。でも、発泡スチロールの小さなゴミは「もう、いや!」という声があるくらいヨシの根元にあります。



見た目はきれいな草地なのですが、タイヤやバイク等はみんなで綱引きして協力。でも、発泡スチロールの小さなゴミは「もう、いや!」という声があるくらいヨシの根元にあります。

40 江戸川区土木部計画課

江戸川区役所の土木計画課では、みなさんの集めたゴミの回収・処分とともに、年1回の活動を実施しています。毎年、参加自由で活動しておりますので、興味のある方は、お気軽にご参加ください。



51 都立白鷗高等学校

川にゴミを捨てる人がいなくなることを願って

関口 舞さん、柳澤 友香さん

私は今回学校の奉仕の授業として、リーダー研修と奉仕当日に参加しました。

リーダー研修では少人数で詳しい説明をしていただき、ゴミ拾いへの理解が深まりました。荒川クリーンエイドの活動では、ゴミの分別は勿論ですが、拾ったゴミの数を種類別に数えるということに驚きました。同時に、集計結果で自分たちがどれだけ拾ったのか分かるので楽しみになりました。

いざゴミを拾いに川辺に出てみると、予想以上のゴミの多さに唖然としました。なるべく多く拾おうと努力しましたが、やはりあまり数が多く、1時間の活動ではごく狭い範囲しか拾えなかったことが大変心残りです。当日の活動でも、同じ印象を受けました。

何気ないポイ捨てもあのように溜まってしまうのだと思うと、一人ひとりがゴミはしかるべき場所に捨てるよう努力すべきだと改めて実感しました。(関口さん)

* * * * *

私は今回学校の奉仕で初めて荒川クリーンエイドを知りました。外から見ると、あまり汚れていないように見えたの



で、そんなに大変なことでもないなと思っていましたが、草の茂みに隠れるように多くのゴミが捨てられていたので、とても驚きました。お菓子の袋やペットボトルをはじめ、ガスボンベや注射器などの危険なものも多く、川辺には子どもの遊ぶところもあるので、子どもがもし触って何かあったらなどと考えると恐ろしいです。その多くのゴミの中に家具などの粗大ゴミがあったことが一番ひどいと思いました。いくらお金がかかるといっても、環境のことも考えずに捨てる人がいると思うと、悲しかったです。

今回クリーンエイドで少しでも川がきれいになったことは嬉しかったです。この活動がもっと世の中に広がって、川に物を捨てる人が一人でも多く減ったらいいなと思いました。私も今度は学校ではなく自主的にこの活動に参加したいです。(柳澤さん)

38 江戸川・生活者ネットワーク

地域活動から見えた課題を政策化し、行政や議会に提案している団体です。毎年、ガールスカウト215団の人たちと協働で実施。近年の状況としてプラスチック類が多いこと、昨年に引き続き注射器が見つかったことなど、社会問題がここにも表れていると感じます。



35、春15 (株)エクスワン



42 江東区土木部水辺と緑の課



48 (株)ファミリーマート



60、75、春9 プルムバーグ L.P.

44 足立区、足立区あらかわ市民会議

本木ワンドは自然地の保持を目指し、足立区あらかわ市民会議で管理について検討しています。荒川クリーンエイドではあらかわ学会のカヌー教室が同時開催され、参加者に自然を学んでいただくとともに、レジャーも楽しめる場所として認識いただけたと思います。

45,46 NTT東日本埼玉グループ

NTT東日本埼玉グループに所属する社員等のボランティアグループ。さいたま会場(秋ヶ瀬運動公園)、熊谷会場(村岡運動場周辺)、川越会場(入間川上戸公園周辺)のクリーンエイドに参加しました。特に、さいたま会場の公園敷地内は、一見ゴミがほとんどないように見えます。よく見るとキャンディ包装等、細かなゴミが散見され、バーベキュー場の周辺に多く、公園利用者のモラル向上が必要だと感じました。



また、茂みの中には大きなゴミがあり、不法投棄が止まない現状を目の当たりにしました。NTT東日本埼玉グループは、今後も環境保護活動に積極的に取り組んでまいります。

47 ダイエーグループ、マルエツグループ、セディナグループ、丸紅グループ

4社グループは05年より一緒に活動しています。一昨年、昨年は雨で中止でしたが、今年は3年ぶりに実施しました。秋ヶ瀬公園はきれいな公園ですが、草むらには自転車等の粗大ゴミや空き缶など隠れるように散乱していました。終了後は会社の隔てなく参加者全員



で園内の自然を楽しみながらお弁当を食べました。今後も楽しみながら参加いただけるクリーン活動を行っていきます。

49 板橋グローブクラブ

板橋グローブクラブは、小中学生を対象にした環境にいい暮らしを楽しく学ぶことを目的に、板橋区立エコポリスセンターで月2回、活動しています。11月の「荒川クリーンエイド」では、子どもたちからは「楽しい」という声が沢



山聞こえてきて、屋外での気持ちよい活動になりました。また来年も、ぜひ参加したいと思います。

50 都立桐ヶ丘高等学校

チャレンジスクールである本校では、毎年11月に地域交流の日として、3・4年生が北区水辺の会ほかの指導のもと、実施しています。



生徒達は集めたゴミ袋の山を目にして、その多さに驚きます。広い荒川の風景の気持ちよさを感じ、自然を大切にすることが育つてくれればと思っています。

56 足立成和信用金庫

今回で10回目の開催となり、当日はお天気にも恵まれ金庫役職員374名、子ども10名、合計384名の方に参加していただき感謝しています。毎年参加していると思うことは、大きなゴミは減っているものの、ポリ袋・ペットボトル・飲料缶・タバコの吸殻・紙くず等はなかなか減る傾向にありませんが、この運動の成果がいつか実を結ぶことを願っています。



57,春2,春24 荒川下流河川事務所

昨年引き続き3回実施して職員全員がこの活動を体験します。今年は、クリーンエイド活動が一度も行われていない箇所を中心に活動した結果、可燃・不燃ゴミ69袋の他、タイヤや^{がいし}碇子などの粗大ゴミ39点など大量のゴミを回収することが出来ました。今回、現地でのゴミ拾いを通じ改めて『ゴミの少ない荒川』を目指す上で、クリーンエイド活動の重要性を参加者全員が再認識すると共に、この活動を幅広いものとするため事務所全体で積極的にクリーンエイド活動を実施していきます。



63 江戸川区立大杉小学校

8年ほど前より、3・4年生が中土手で活動をさせられています。毎回の活動でクリーンエイドの時間を取って行っていますが、その度に捨てられるゴミの多さに子どもたちは驚き、鳥や水生生物、水質や植物を守っていくためにもきちんとゴミを拾うことの大切さを感じ、一所懸命行っています。

春6 (株)新生銀行コミュニティ運営委員会

新入社員の社会貢献意識向上と交流のために

柴崎 栄二さん

4月11日に新生銀行グループの新入社員の研修の一環として荒川クリーンエイドに参加しました。昨年までも新入社員の研修としてボランティア活動を行ってきましたが、今回は新入社員およびサポーターの先輩社員を含めた総勢82名が初めて荒川の清掃活動に参加しました。

今回の企画は会社主導ではなく、コミュニティ運営委員会という社員ボランティアが運営する社会貢献活動を企画する組織が、新入社員の社会貢献活動に対する意識向上と、グループ会社社員同士・新入社員と先輩社員の交流を目的に荒川クリーンエイド・フォーラムさんのご協力を得て実施したものです。

たった半日、清掃活動はたった1時間でしたが、今回の活動の成果は非常に大きかったと思っています。正直なところ、活動前にはたった1時間の活動でいいのかという意見もありましたが、荒川クリーンエイド・フォーラムさんによる活動の目的や



その意義についての事前レクチャーと活動後の振り返りの実施によって、今回の活動は「単純なゴミ拾い活動」とどまらずに、ゴミ問題や環境問題に対してどのように取り組んでいったらいいか?日頃の生活の中で自分たちは何が出来るのか?ということを考えてとてもいい機会になったと思います。多くの新入社員が、ゴミの中にたくましく生きるカニを見たことによって、ゴミを安易に川に捨てるのが自然の中に棲む生物にどれほどの影響を与えることになるのか、感じてくれたことと思います。

新入社員の約86%が今後こうしたイベントがあれば是非参加したいと言ってくれました。自然を楽しみながら汗を流して活動をし、そしてその活動を通じて何かを感じてもらう。これからは荒川河川敷のゴミ拾い活動を通じて、私たちと同じように多くの人に何かを感じて欲しいと思いました。我々自身もこれからも荒川クリーンエイドの活動に参加していきたいと思っています。

64 (株)ローソン

今回で15回目の活動となりました。当日は、128人が参加し、散乱ゴミ57袋と粗大ゴミ23点を回収しました。活動後は荒川や環境問題に関するクイズ大会も行いました。ローソンでは、今後も活動を通じて、環境保全への認識を深める場としていきたいと思っています。



66 江戸川区立平井小学校

平井小学校は、毎年4年生がクリーンエイドに参加させていただいています。子どもたちはあまりにも様々なものが落ちているのに驚きながら、夢中になってゴミを拾いました。特に注射器の多さには、付き添ってくれた保護者の方も、子どもたちもびっくりしてました。荒川の自然もたくさん学べ、大変有意義でした。

68 東京東江戸川ロータリークラブ

職業を通じて奉仕活動を実施しているロータリークラブが今回の荒川クリーンエイドの実施団体として参加することは、自分が清掃活動を行い、環境意識の向上を図ることはもちろん、この荒川クリーンエイドをロータリーとして社会に知らしめる「宣伝者」としての役割を果たすことが、私たちの社会奉仕の活動の目的であると考え、声かけをし、様々な職業の方々、中高生の参加(合計193名)も実現でき、大きな成果が上がったと思いました。



- 市民団体
- 自治体・行政
- 企業
- 学校
- 学校以外の子ども関係



51 都立白鷗高校



61 松山油脂(株)



68 東京東江戸川ロータリークラブ



73 DKWBS



80 仁川国際高校



春1 江戸川区立小松川第二小学校5年生



春4 葛飾区立小松南小学校6年生



春5 日興シティビジネスサービス(株)

69 日本アイ・ビー・エム(株)

IBMは、テクノロジーを通じ日本の新しい価値創造の原動力となることを目指しています。創業以来、社員のボランティア活動を会社として積極的に



支援し、現在日本IBMだけでも5000人以上のボランティア希望登録者がいます。荒川クリーンアップ活動は社員の環境意識を高める良い機会です。

70 シティグループ

シティグループでは、年1回、全世界で同じ日に社員とその家族とともにボランティア活動を行う日があります。2009年は11月7日に開催し、



日本でもグループ内の所属会社、部署に関係なく22のプログラムに1,100名以上が参加しました。荒川クリーンアップもその一つこのプログラムであり、有志が集まり、清掃活動に取り組みました。

71,77 江戸川区立西葛西中学校

私達は学芸発表会や、江戸川区教育委員会主催の思いっきり表現しようコンクール等に、荒川で調査した内容をまとめ、ポスターを製作し、



出展しました。生徒達は、荒川でゴミを拾い、色々な生物を探し、元気に駆け回っていました。普段とは異なる環境で、色々な事を学んだようでした。

72, 春30 江東エコリーダーの会

江東エコリーダーの養成講座の修了生が中心になり区内の環境問題に取り組んでいます。「水辺とみどり」を中心に「みどりのカーテン」を区内施設に設置、また江東区で唯一の荒川の新砂干潟のクリーンエイドと自然観察を行っています。年2回ほど実施しています。



春12 NTT労働組合東京グループ連絡協議会



春17 都立日本橋高等学校1学年

79 日本サムスンデザインチーム

今回はじめて荒川クリーンエイドに参加しました。実施日は天候に恵まれ、河川敷には陽光が溢れており、拾うべきゴミがあまりないのではないかとおりましたが、川岸に近づくにつれ、プラスチック



ゴミを中心とするゴミの数々が私達の目前に現れました。身近な河川に、このように大量のゴミがあふれている(投棄されている)と知り、ショックを受けました。また参加したいと思っております。

春8 荒川夢クラブ

荒川夢クラブは、夢を持ちながら、荒川をフィールドにゆっくりじっくり活動を楽しんでいる団体です。今年4月19日(日)に川口市の荒川運動公園、通称釣り堀池周辺で「春の荒川クリーンエイド」を9人



の参加者で実施。ゴミ調査、水辺クリーンアップ、水質調査を行い、野草のてんぶらの試食もたっぷり楽しみました。

春16 「24時間テレビ」チャリティー委員会

「24時間テレビ」の地球環境保護支援の一環として270名がクリーンエイドを実施しました。当日拾ったゴミは、244袋(2トントラック3台分)と、木材、プラスチックケース、自動車部品などの粗大ゴミ。プラスチック製の袋類、その他プラスチック製品、ペットボトル、発泡スチロールの破片、レジ袋等自然に還らず、蓄積されるゴミの多さを、ゴミの種類を数えることで実感しました。清掃活動終了後の自然教室では、荒川の



自然と生き物に触れ、その大切さを再認識。ゴミを拾うことにより、動植物が生きる場が取り戻せることがわかりました。皆様、有難うございました!



春24 国土交通省荒川下流河川事務所



春26 日本ボーイスカウト東京連盟北地区第11団

春19 尾久の原愛好会

水辺と緑に癒しを求めてくる人が、ゴミを散らして帰る。誠に理解



に苦しむ。河川敷の草刈りなどと、釣り人、運動場の利用者を含め、河川敷への立入者に対し喚起の立札の設置や巡回指導などを管理者に望む。これが必要ならば私どもの行為は賽の河原だ。

春21 富士ゼロックスシステムサービス(株)

当社は2008年に創業20周年を迎え、「感謝」というキーワードをテーマに各種イベントを実施して参りました。「荒川河川敷清掃活動」もその一環で、事業所のある板橋区への地域社会貢献と環境への感謝の気持ちを込めて、社員有志メンバーが活動に参加。整備された土手側とは打って変わり、ゴミで溢れる河川敷の様子に驚きの声を上げながら、汗だくになって清掃活動を行いました。活動自体への満足度は高く、ほぼ全員から「今後も参加したい」という声を得ることができました。日頃接する



機会の少ない社員同士の交流も深まり、地域社会貢献をしながら、コミュニケーションを図れる良い機会となりました。



春12 NTT労働組合・東京グループ連絡協議会

「荒川クリーンアップ行動」で環境問題を再認識

野口 達さん

NTT労働組合・東京グループ連絡協議会は、5月9日(土)、都内荒川河川敷(足立小台・千住桜木)において荒川クリーンエイド・フォーラムさんの支援のもと「荒川クリーンアップ行動」と題し、組合員に環境問題に対する意識をさらに高めてもらうため、NTT労組の上部組織である情報労連の仲間とともに、初めての清掃活動を行いました。これは、NTT労組要請によるすべての都道府県グループ連絡協議会・「環境」統一行動をふまえてのもので、初めての取り組みにも関わらず、予想を上回る組合員、その家族、退職者の方々から応募があり、約270名が参加しました。

清掃活動は、5~6名のグループに分かれて行った結果、可燃・プラスチック系袋:153、非可燃系袋:62、粗大ゴミ:33を収集しました。中でもプラスチック系のゴミは全体の約80%を占め、私たちの生活においていかにプラスチック製品が出回っているかだけでなく、捨てられているんだということを感じさせられました。また、当日は、荒川クリーンエイド・フォーラムさんによる投網や野鳥観察等の自然環境教室も行われ、流域の自然にも触れ合うことができました。

参加者からは、①予想以上にゴミが多く驚いた②こうした活動を継続しなければゴミはなくなる③ゴミを捨てないという一人ひとりの心がけが大切④親子で参加でき、よい体験になった等の感想が寄せられ、それぞれが、今回の体験を通じて充実感や達成感を味わうとともに、環境問題を再認識することができたと思っております。初めてで、一体どうなるのか不安でしたが、荒川クリーンエイドさんのおかげで、参加者も活動に満足し、無事に終えることができ本当にありがとうございました。

春25 えどがわエコセンター自然部会

自然部会は、よりよい環境にするために人は自然とどんな関わり方をすればよいのか考え、実行する部会です。6月27日(土)東なぎさで行いま



した。普段立入禁止区域の場所ですが、許可をもらい、船で行き来し、河口のゴミ拾いを行いました。海に流れ出したゴミの多種多様、大中小に参加者はびっくりし、改めてゴミについて考えさせられていました。

春27 リソな銀行 首都圏地域

一昨年、荒川流域の支店有志を募り、「24時間テレビ」主催の活動に参加したことを端緒に、一昨



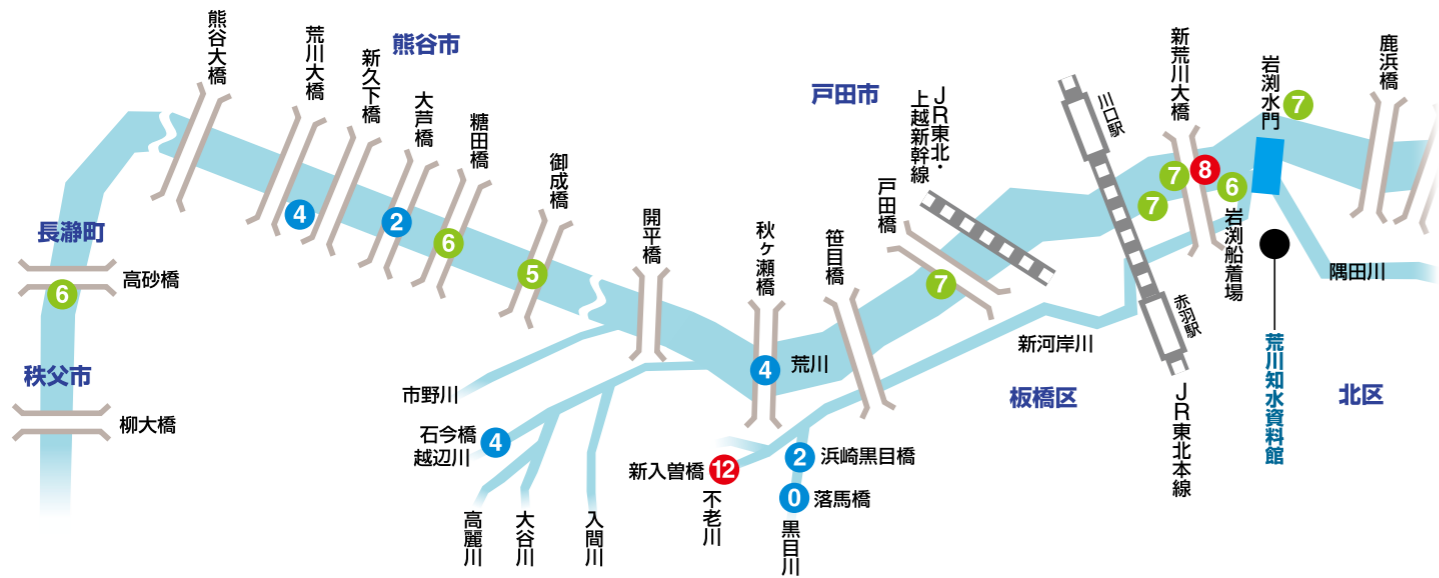
年は250人、昨年は400人の社員が集まりました。今年は江東区内への本社移転も控えており、地元での社会貢献活動を継続して参りたいと考えております。

他にも、No.12みずすましの会、No.15黒目川に親しむ会、No.16JP労組城北支部・板橋区緑と公園課・板橋水辺を楽しむ会・センスオブアース、No.29足立区荒川ビジターセンター・足立の川を考える会、No.37三井ボランティアネットワーク事業団、No.40江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ、No.41Jambo International Center、No.52三井住友海上メットライフ生命保険(株)、No.58新生銀行グループ、No.59新生フィナンシャル(株)、No.65小松川平井連合町会、No.78(株)藤商事が、クリーンエイドを実施しました。

水質調査

6月と秋のクリーンエイド時に荒川の本流や支流で水質調査を行い、結果を公表しています。市民の力で川の健全性を調べ、身近な川の水質への関心を高めています。

荒川クリーンエイドの水質調査2009



秋の水質調査COD(化学的酸素要求量)

- COD 0~4 mg/l
- COD 5~7 mg/l
- COD 8~ mg/l

※○内の数値はCOD値(mg/l)
(秋のクリーンエイド時水質調査より)



水質調査の調査項目

6月、荒川クリーンエイド実施日ともに、希望会場において10項目の水質調査を実施しています。

[バックテスト調査]

- ①pH：水の酸性/アルカリ性を調べます
- ②COD(化学的酸素要求量)：水中の有機物(汚れ)の量を測ります。値が大きいほど汚れていることを示します。
- ③アンモニア態窒素(NH₄-N)
- ④亜硝酸態窒素(NO₂-N)
- ⑤硝酸態窒素(NO₃-N)：

③④⑤は水中の有機物が分解されたものに含まれる窒素の量を測ります。

これら3項目を総合して無機窒素量を算出します。

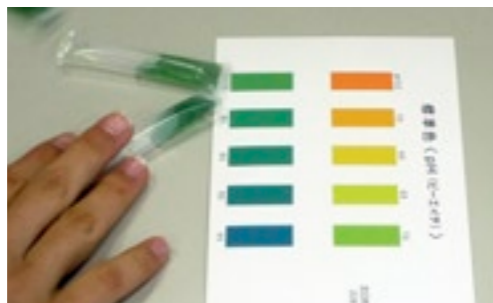
[水の状態を調査]

- ⑥気温⑦水温⑧色⑨において、温度計による気温、水温の他に、五感を使って水の色やにおいを調べます。
- ⑩透視度：透視度計で水のごり具合を調べます。



透視度測定

※バックテストでは、試薬の入っているバックに調査する水を入れて、反応する色の違いで簡単に水の汚れ具合などを調べることができます。



バックテスト

CODの目安

- COD値(mg/l)
- 0~2：きれいな水
 - 3~5：やや汚れた水
 - 6~9：汚れた水
 - 10以上：とても汚れた水

ヨシ原の保全と水質

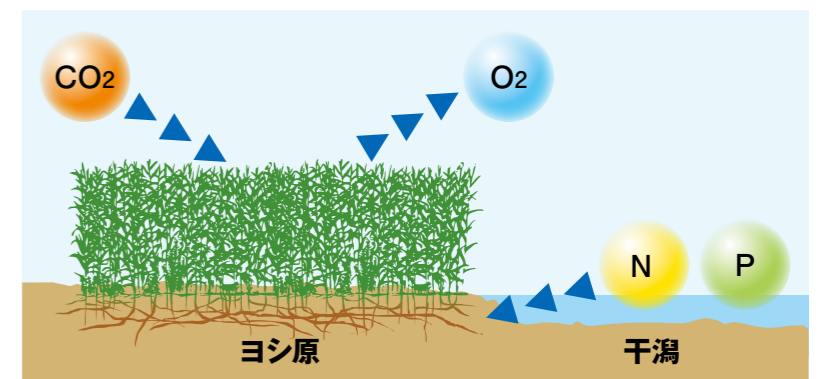
河川敷にたくさん生育しているヨシは、二酸化炭素を吸収して酸素を生成したり、昆虫、鳥類、爬虫類など多様な動物のすみかとなり生態系保全にも役立っています。

ヨシの地下茎は水中、地中から多くのチッソ、リン、カリウム、マグネシウムなどの無機物を吸い上げて成長します。ヨシの成長により、水中の富栄養化(チッソ、リンが多くなりすぎることが原因)によるアオコ発生などを抑える水質浄化の働きがあります。

干潟の保全と水質

干潟に生息するカニ類の多くやゴカイ類は、干潟の有機物を食べ、また穴を作ることで奥深くまで酸素を供給し砂泥中の有機物の分解を進めます。また貝類は水中の有機物を食べ

ることで水を浄化しています。このように干潟のいろいろな生きものたちの働きによって水が浄化されています。ゴミを除きヨシ原や干潟を保全することは水質浄化にも役立っています。



—参加団体より—

川口市立西中学校科学部では、長年にわたって「荒川」と、支流の「菖蒲川」「緑川」の水質調査を継続している。その結果を見ると、以前に比べて水質は次第に良くなってはきている。しかし、取水に行くたびに目にする浮遊物は、寒心に堪えない。ペットボトル、発泡スチロールの箱・蓋、紙くず、弁当のバック、テグス・針等々、それらはみな、人間が不用意に投げ捨てた

ものである。四季の変化を感じさせてくれる荒川堤は、絶好の散歩道であり、ランニングコースであり、校舎の窓からは日々、荒川堤を往来する人たちの姿が望める。水質の向上が魚たちの数を増やし、釣りに勤しむ人の数も増えている。それはとても良いことだが、その人たちが「荒川」やその支流を汚している元凶だとすれば、それは由々しき問題である。今こそ改めて、自然に対する人間たちのマナーを考え直すべきだと思う。

【川口市立西中学校科学部顧問 蔭山 勝】

2つの調査から見える水質変化

身近な川の 一斉水質調査(6月)

1997年より毎年6月の第一日曜日の午前10時を中心に、荒川下流域ほかで水質調査を実施しています。今年は19団体の協力により49地点で実施されました。

戸田市～足立区で最も汚れ、 河口付近はきれい

源流は秩父市大滝から河口まで、荒川の上～下流の水質の変化には一定の傾向が見られます。

源流部(中津川合流部)では非常にきれいな状態ですが、一般家庭からの未処理の排水が流入する佐久良橋付近(秩父市)ではやや高くなり、その後流れ下る中で浄化され、高砂橋(長瀬町)から開平橋(上尾市)に至る中流部では比較的きれいになります。

そして、秋ヶ瀬堰より下流は、下水道設備のない中小河川の合流や、高度処理設備のない水再生センターからの排水等により、水は再び汚れます。最下流部では、潮の干満の影響で東京湾の海水が上がり海水により薄まるため、河口に近づくに従ってきれいになります。

秋のクリーンエイド時 水質調査

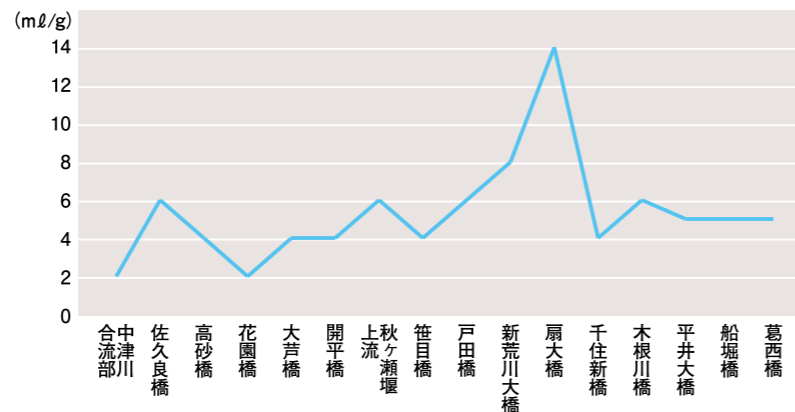
1995年より、秋のクリーンエイドの中で水質調査を実施しています。2009は、荒川本流と支流31会場で実施されました。

2000年前後に改善、以降横ばいか

荒川下流部を流れる水は、上流から秋ヶ瀬堰を通して流れ下る水量は約3分の1で、3分の2は下水処理場や芝川などの比較的汚い中小河川から流れ込む水です。したがって、荒川下流部では、大雨が降って未処理の下水が放流されたり、水が激しく流れて川底のヘド口を巻き上げるなどして、CODが一気に上昇することがあります。

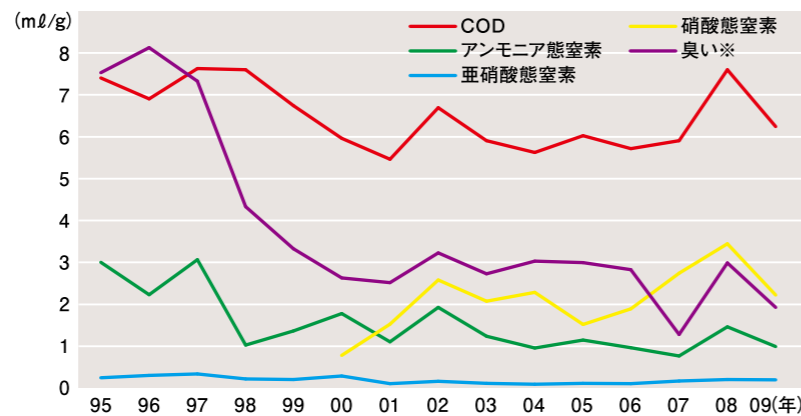
経年変化のグラフを見ると、調査を始めた95～99年頃は、CODやアンモニウム態窒素の数値も高く、観測者が臭いと感じる割合も高かったが、2000年ころから両数値ともに小さ

グラフ13 荒川本流上流～下流のCOD値の変化(6月の水質調査より)



- 注: 1) CODとは化学的酸素要求量で水の汚れを示す代表的指標。数値が高いほど汚れていることになる。(P30参照)
2) 秋ヶ瀬堰上流から上流のデータは、荒川流域ネットワークより提供いただいた。
3) 扇大橋については、2008年は4、2007年は8で、2009年は例年に比べかなり高い値となった。

グラフ14 荒川本流下流部の水質経年変化(秋のクリーンエイド時水質調査より)



- 注: 1) 荒川下流部8地点(戸田橋、新荒川大橋、扇大橋、千住新橋、四ツ木橋、平井大橋、船堀橋、葛西橋)の平均値。ただし、CODについて10以上の値は平均から除いた。(2008年までの報告集とは平均値の算出方法が異なる)
2) 採水は橋の中央部から行うよう依頼しているが、2005年以前は、橋近くの岸から採水したデータも含まれる。
3) (※)荒川本流下流域全調査会場で、調査者が何かしら否定的な臭いを感じた会場の割合(全体10に対する割合)



クルマサヨリ

くなり、それに対応して臭いと感じる人の割合も少なくなっていることがわかります。並行して行っている魚類調査では、以前から多種類の魚が観察されていましたが、今回はじめてクルマサヨリが観察されるなど、荒川の水質が良くなっていることがうかがわれます。

流域連携

川の環境保全は「流域」の視点で取り組むことが重要です。クリーンエイド活動だけでなく、源流や中流域へのエコツアー、シンポジウムの協働開催等を通じて流域連携を続けています。

荒川源流エコツアー

荒川源流との交流を目的に、1995年以来毎年埼玉県秩父市大滝へのエコツアーを続けています。今年は、9月5、6日にバイオマス発電、源流の森の木材利用などをテーマに開催しました。

1日目は、端材を利用した木製チップをガス化し発電するバイオマス発電所と、秩父市森林組合の貯木場などを見学しました。

2日目は、原生林のトレッキングでカツラの巨樹を見学、続いて源流ツアー恒例の「鉄砲堰」(伐採した木材を水力で運び出すために昔利用した木の堰)の実演を見学し、ツアーを終えました。

交流会：流域連携で源流の森の再生を

1日目の夜に交流会を開催し、秩父市から「林業と環境の抱える問題について」、国土交通省



秩父広域森林組合木材センターの見学(荒川源流エコツアー)



カツラの巨樹の前で(荒川源流エコツアー)



アユの放流(天然アユの遡上支援作戦)

荒川下流河川事務所からは「荒川下流部におけるゴミ対策事業について」、そして、江戸川区からは「源流の木材利用について」、それぞれ報告をいただき、意見交換を行いました。

秩父市からの報告によれば、秩父市は総面積の87%が森林、その約半分が人工林ですが、木材の値段が50年前とほぼ同じで採算が合わないため、林業が成り立たず、人工林の約半分はほとんど手入れがなされていない状況にあります。林業経営を再興し、森林の維持管理・環境保全を図るため、国産材の利用を進め、バイオマスエネルギー買い取りの仕組

みを整えたい考えです。また、江戸川区からは、区の公園施設に秩父の木材を利用する計画が進められていることなどが報告されました。

このような流域連携の取り組みにより、荒川源流の森が元気を取り戻すことが期待されます。

※東洋ゴム環境保護基金および大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施しました。

荒川流域 再生プロジェクトの協働

2000年より、流域市民が連携して荒川の問題を考える「荒川流域水環境シンポジウム」を開催してきました。この活動は、2008年に「荒川流域再生プロジェクト」に引き継がれ、荒川クリーンエイド・フォーラムもその一員として取り組んでいます。

第13回荒川流域再生シンポジウムと 「天然アユの遡上支援作戦」

同プロジェクトは、8月22・23日、熊谷市内を中心に、投網体験会、伝統漁具・漁法の勉強会などを含む「ミズガキ交流会」を開催、その中で「魚を増やす川作り」をテーマに「第13回荒川流域再生シンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは、同プロジェクトの主要な取り組みである「天然アユの遡上支援作戦」について中間報告と意見交換が行われました。

この活動は、今年4月26日に入間川菅間の堰(アユが遡れない)の上流に脂ビレを切って標識とした9,000尾のアユの稚魚を放流し、そのアユがどこまで遡上するかを調査・観察しているもの。放流の翌日から8月まで、入間川と越辺川の農業用取水堰等での投網による捕獲調査や、釣り人からの情報収集などを行い、各地で脂ビレのないアユが確認されたことが報告されました。

同プロジェクトは、2009年8月に埼玉県上田知事に面会し、活動の趣旨を伝え、魚道の設置等を要望しました。引き続き、国土交通省や埼玉県などの関係機関に、菅間の堰をはじめアユの遡上が困難な堰の開放や魚道の設置を要請していく考えです。

環境学習支援

次世代を担う子どもたちが自然と触れ合い、自然環境を守る大人に成長するよう、親子向け自然観察会やエコツアーの開催、小中学校の総合学習支援、指導者向けガイドブックの発行などを通して、環境学習を支援しています。

なつやすみ水辺の楽校

毎年夏休みに、自然観察と室内学習を組み合わせた親子向けイベントを行っています。今年、「生き物たちのつながり発見」をテーマに、荒川の河口、葛西臨海公園前の干潟で実施しました。

干潟の生き物探索と、プロジェクト・ワイルドのプログラムを活用した「生き物たちのつながりゲーム」、「生態系ピラミッド」「生き物たちのつながりチャート」作りなどを通して、水辺の生き物たちとたっぴり触れ合い、生き物たちが食べたり食べられたりすることによって自然界が成り立っていることを学びました。



「生き物たちのつながりゲーム」でゴカイに扮する班リーダー

※東洋ゴム環境保護基金および大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施しました。



「生き物たちのつながりチャート」の発表



干潟の生き物探索

小中学校の総合学習支援

以下のようなサポートを通して、河川を利用した環境学習を応援しています。

- 活動に適した自然地、安全管理、プログラム等に関するアドバイス
- 指導者向けガイドブックの提供、水辺の安全セミナーの開催(P40参照)
- モデル校との協働による、河川を活用した環境学習プログラムの開発

【紹介・支援した学習プログラム】

●クリーンエイド(ゴミ拾い・ゴミ調査)と

事前・事後学習

「小学生のためのクリーンエイドのしおり」を提供し、クリーンエイドの意義や安全等について事前に学び、クリーンエイドの後には拾ったゴミを集計し、ゴミがどこからやってくるのか、どうしたらゴミがなくなるかを考える学習を支援しました。

●課題学習

動植物やゴミ、水質等について、子どもたちが自ら課題を見つけ、計画を立て、フィールドで調べ、まとめ、発表する学習を支援しました。ワークシートや指導者向け資料の提供も行いました。

●プロジェクト・ワイルドを活用したプログラム、独自の自然体験プログラム

●ヨシ笛、ヨシズ編みなど自然遊び

(*)プロジェクト・ワイルドとは、自然や環境のために行動できる人を育成するために米国で開発された、野生生物を題材とする環境教育プログラム。



「あらかわ楽習実践ガイド」—指導者向けガイドブック。プログラムの組み立て、安全管理、小学生のためのクリーンエイドのしおりなど。



「荒川遊学ガイド」—指導者向けガイドブック。ヨシ笛、ヨシズ編み、池や干潟で遊ぶ、野鳥観察など。



プロジェクト・ワイルドのアクティビティで生態系の仕組みについて学ぶ子どもたち

■事務局・運営委員が支援した環境学習

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、子どもたちの環境学習を応援するため、各地で支援活動を行っています。

支援先(子ども人数)	日	場所	内容	支援団体
【東京都】2009年1～3月				
江戸川区立大杉小学校 3・4年(121人)	1月23日	中土手五色池	課題学習、自然遊び(ヨシ笛、ヨシズ編みなど)	荒川クリーンエイド・フォーラム(以下ACF)、中土手に自然を戻す市民の会(以下中土手の会)
板橋区立金沢小学校 1年～6年(18名)	1月24日	道満グリーンパーク	バードウォッチング	いたばし野鳥クラブ、金沢クラブ
江戸川区立小松川小学校 4年(98人)、3年(10人)	2月3日、2月24日	下平井水辺の楽校、平井小学校	課題学習、自然体験プログラム、発表会、自然観察と荒川Q&A	ACF
板橋区立赤羽台小学校 3年(75名)	2月5日	浮間公園	バードウォッチング	いたばし野鳥クラブ
江戸川区立小松川第二小学校 5年(163人)	2月9日	小松川自然地	クリーンエイド、自然体験プログラム	ACF
江戸川区立平井東小学校 4年(47人)	3月17日	下平井水辺の楽校	プロジェクト・ワイルド(*)より「野生生活は運まかせ」、自然体験プログラム	ACF
葛飾区立小松南小学校 6年(80人)	3月10日	中土手五色池	ヨシズ編み、ヨシ笛、キクイモ掘り	ACF、中土手の会
2009年4～12月				
江戸川区立大杉小学校 3・4年(140人)	5月11日、7月14日、10月23日	中土手五色池	課題学習、自然体験プログラム	ACF、中土手の会
江戸川区立平井東小学校 4年(49人)	5月20日、6月12日、11月25日	下平井水辺の楽校、平井東小学校	自然体験プログラムプロジェクト・ワイルド(*)より「生き物たちのつながり」映像授業、新4年生へのメッセージ作り	ACF
江戸川区立第二松江小学校 3年(53人)	5月25日	小松川池	自然観察、植物図鑑作り、ザリガニ釣り	ACF、下平井水辺の楽校
江戸川区立平井小学校 4年(39人)	6月3日、6月24日、10月20日、11月20日	下平井水辺の楽校、平井小学校	映像授業、自然体験プログラム、課題学習、クリーンエイド、新4年生へのメッセージ、発表会	ACF
江戸川区立小松川小学校 4年(67人)	6月9日、6月23日、10月15日	下平井水辺の楽校、小松川小学校	映像授業、自然体験プログラム、課題学習	ACF
葛飾区立西小菅小学校 4年(18人)	8月27日、10月9日	西小菅緑地、西小菅小学校	映像授業、自然体験プログラム、グループ研究「荒川の生き物について」	あらかわミズガキ隊
葛飾区役所環境課「かつしかっこたんけん隊」(約35人)	10月10日	葛飾水辺公園	荒川の生き物を見つけよう！(生き物探し、自然体験プログラム)	あらかわミズガキ隊
豊島区立池袋第二小学校 2年(48人)	11月24日	浮間公園	バードウォッチング	いたばし野鳥クラブ
板橋区立高島第五小学校ネイチャークラブ(18人)	12月22日	都立赤塚公園	バードウォッチング	いたばし野鳥クラブ
【埼玉県】				
川口市立幸並中学校 1年(70人)	1月16日	幸並中学校	荒川と地球温暖化についての講義	荒川夢クラブ
川口市立原町小学校 6年(5人)	8月31日	原町小学校	クリーンエイドについてインタビュー	荒川夢クラブ
川口市立芝南小学校 5年(10人)	9月12日、10月4日	芝南公民館	豎川の映像学習、豎川の水質調査	荒川夢クラブ
川口市立領家小学校 1・2年(100人)	10月1日	旧芝川	虫捕り	荒川夢クラブ
ガールスカウト埼玉県第59団(15～20人)	3月14日、8月7～9日	見沼	見沼・芝川の自然について解説 長瀬の自然について解説	荒川夢クラブ
川口市芝南公民館子ども講座(10～15人)	5月24日、7月26日、9月27日、11月22日	芝南公民館、豎川	自然体験プログラム、野草のてんぶらクッキング、豎川の未来設計図、豎川をテーマにした飛行機作り	荒川夢クラブ
荒川夢クラブ主催「夏休み荒川子ども体験学習」(25人)	7月31日	荒川、東京湾の干潟	荒川船上研修と東京湾干潟学習	荒川夢クラブ
埼玉県(20人)	8月25日	荒川	荒川船上研修	荒川夢クラブ

注：1) 荒川クリーンエイド・フォーラム事務局、運営委員が関わった、荒川・支流における小中学生向け環境学習
2) (*)プロジェクト・ワイルドとは、自然や環境のために行動できる人を育成するために米国で開発された、野生生物を題材とする環境教育プログラム。



荒川で課題学習に取り組む子どもたち



バードウォッチング



干潟の生き物観察

市民ボランティア活動の運営支援

荒川のよりよい環境を目指して、

2009年度、荒川下流部での市民ボランティア活動の円滑な運営を支援する業務をはじめて請負い遂行しました。

1. 「いつでもできるゴミ拾い」の推進

「いつでもできるゴミ拾い」は、河川敷の所定の場所でゴミ袋を受け取り、河川敷に設置してあるゴミ集積所に拾ったゴミを自由における仕組みです。これらを周知させるためのパンフレット、ゴミ袋を企画・制作して、周知していくことをすすめています。(2010年3月完成予定)

2. 荒川市民パトロール隊の研修会の開催を支援

荒川下流部で登録・活動している市民パトロール隊員を対象に10月31日に「あらかわ号」に乗船して研修会を荒川下流河川事務所が開催しました。この研修会を開催するにあ

たっての企画、申込受付、資料準備、当日運営などの支援を行いました。

3. 「ゴミの捨てにくい環境づくり」に向けてのアンケート実施

荒川クリーンエイド会場キャプテンや荒川市民パトロール隊員などを対象に、「ゴミの捨てにくい環境づくり」に向けてアンケートを実施しました。このアンケート結果を元にこれからの「ゴミの捨てにくい環境づくり」の実現を目指していきます。

※荒川下流河川事務所では、市民ボランティアと協働で河川敷の環境を良くするため、上記のような仕組みにより市民ボランティア活動を推進しています。

新たなステージを目指して

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、活動の持続性と発展を目指して、これまでの成果を踏まえ新たな取り組みを始めています。

2009年の新たな取り組み

1. 社員研修事業の実施

クリーンエイドのノウハウを企業の人づくりや企業活動に活かしていただくことを目指して昨年度立ち上げた「クリーンエイドを活用した新入社員研修プログラム」を3社で実施しました(P21参照)。クリーンエイドが社員のチームビルディングにも役立ち、ボランティア活動を始めるきっかけとなる成果が得られました。

2. 年間を通したクリーンエイド実施のシステム化

春や夏に新たにクリーンエイドを実施したい団体を迎えるために、2009年ははじめて春にも説明会を開催しました。これによって、年間を通していつでもクリーンエイドを始められるような体制を整え、多様なニーズに対応できるよう推進しています。

3. 新たな力を得る取り組み

組織の基盤強化のために、積極的に外部の方々からもサポートをいただくことを推進しています。

【経営戦略実行100日間プログラムに参加】

ビジネスのプロの方々から支援いただき経営戦略企画を立てました(主催：東京ボランティア市民活動センター／特別協賛：ゴールドマン・サックス証券)

【サービスマン・スタッフの支援】

ビジネススキルを持ってNPOの活動を応援して下さる方々の集まる団体の支援をいただき、ホームページのリニューアルを目指しています。(2010年リニューアル予定)

【ボランティア・スタッフ募集】

ホームページやチラシで積極的にボランティアスタッフの募集を始めました。

荒川クリーンエイドが果たしてきた役割

1. 自然環境の保全

ヨシ原や干潟のゴミを取り除くことで、荒川や東京湾の健全な生態系の保全や水の浄化に貢献してきました。

●クリーンエイド

ヨシ原や干潟のゴミを取り除く



●ヨシ原や干潟の保全

ヨシ原や干潟、そこに棲む生き物が元気になる



自然環境の保全

●健全な生態系の保全 荒川の健全な生態系の保全に貢献



ヨシ原で育まれるオオヨシキリのひな



荒川に戻ってきたトビハゼ

●水の浄化

ヨシや干潟の浄化力が高まり、荒川や東京湾の水質改善に貢献



水質調査

2. 人づくり・仕組みづくり

この取り組みを通して、市民が河川環境に関心を持つきっかけを提供し、市民・企業・自治体・行政などさまざまなセクターが協働する仕組みをつくってきました。

- さまざまな団体がそれぞれクリーンエイド会場を運営するようサポートし、団体間の情報交換を推進しています。
- 自治体・行政が会場運営団体とも連携し、回収したゴミを処理しています。

よりよい荒川を目指して ~新たな自然地管理の仕組みづくりを

荒川下流部では、市民参加による新たな「荒川将来像計画」の策定が検討されています。今後は、荒川下流部における健全な生態系の保全を目指して、市民がさらに大きな役割を担うことが求められると考えます。荒川クリーンエイドも、これまでの取り組みの成果を踏まえ、新たな仕組みづくりの一端を担っていきたく考えています。

1. 市民を中心とした自然地管理を

荒川下流部の河川敷・水際は、グラウンドやゴルフ場などの利用地のほか、ヨシ原・草原、干潟、池などから成る自然地がその多くを占めています。そのうち、市民団体に関わって、環境学習等の場として利用しながらゴミ拾いや草刈りなどの管理を定期的に行っている場所が数か所ありますが、その他は、荒川クリーンエイドにより年に1、2回ゴミ拾いが行われているか、全く手つかずとなっている状態です。

現在、行政や自治体の予算が縮小されていることを受け、今後は、市民団体が中心となって、このような自然地の管理を請負うよう移行していくことが望ましいと考えます。市民

や企業の参画を積極的に受け入れ協働することにより、より多くの人々が荒川の自然地に関わる事が可能となります。

2. 新たな協働の仕組みづくり

荒川の自然地管理を市民団体が中心的に請負うためには、特定外来種の除去や草刈り等を含め、その場所ごと、及び荒川全体の自然地管理計画を立て、健全な生態系の保全と利用のバランスを図ることが重要となります。計画に当たっては、行政・自治体・市民のほか、専門家や企業の関係者等を含めた検討の場を持つことが望まれます。

自然地の管理に当たっては、市民・企業・自治体等が協働する仕組みをつくること、そして、自然と共生しながら自然と触れ合う環境学習・環境活動の場としての利用を進めること、ヨシの利用や川漁など荒川を軸とした資源循環の仕組みの創出を視野に入れることで、持続的な自然地管理が可能になると考えます。

(*)「荒川将来像計画」とは、荒川下流部の望ましい姿を示したもので、「荒川の将来を考える協議会」により1996年にとりまとめられました。

指導者育成

クリーンエイドや環境学習等のリーダーを育成し、河川環境に関心を持つ人の輪を広げるため、サポーターを育成するとともに、水辺の安全セミナーを開催し安全面の強化を図っています。

水辺の安全セミナー

クリーンエイド会場リーダー、水辺の活動リーダー、荒川で環境学習に取り組む小中学校教員・指導者等を対象に、毎年水辺の安全セミナーを開催しています。

今年も、水辺の活動シーズンに入る7月5日(日)に、江戸川区の荒川河川敷(下平井水辺の楽校)と平井コミュニティ会館で開催しました。

まずは室内で、安全管理とは、水辺での監視法、熱中症や生物によるけがへの対処法等について講義を行った後、フィールドに出て実地体験を行いました。

フィールドでは、まずは川で流された人を救出するスローロープの実習を行いました。



スローロープ実習



シミュレーション型ワークショップで、事故の状況を想定する参加者たち



ワークショップの発表

そして、今回セミナーの主要な試みである「シミュレーション型ワークショップ」では、班に分かれ、イベント主催者になりきって事前・当日・事後の対応を考え、発表し合いました。各班とも本番さながらに下見をし、事故の状況を想定し、対応を考えていました。

ワークショップの発表では、周到的対応の班あり、あえて不十分な対応を試みる班ありで、典型的な事故の状況と注意事項を共有することができました。発表後は、講師に講評をいただき、様々な状況への対応について質疑応答、討論する機会となりました。

※東洋ゴム環境保護基金および大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施しました。

サポーターの育成

クリーンエイド実施説明会、みんなのクリーンエイド等を通してクリーンエイドのリーダーを育成するほか、イベント時にサポーターを募集・活用することを通して、リーダーの育成につなげています。

2009年は、7月25日(土)「なつやすみ水辺の楽校」時に、班リーダーとして子どもたちの見守りと学びをサポートする役割を担っていただきました。

参加したサポーターからは、「小さな生き物に生かされていることに気づかされました」「ボランティアには堅苦しいイメージがありましたが、楽しいものだとわかりました」「子どもたちの成長や発見に力を貸すことができました」といった感想が聞かれ、自然環境やボランティア活動に関心を持っていただくことができました。



子どもたちと共に活動するサポーター(なつやすみ水辺の楽校)

データ

(1) 散乱ゴミの素材別集計・容器包装類集計

素材別	2009年			容器包装類
	個数	割合(%)	割合(%)	
プラスチック類	12,232	54.5	12.232	12,232
ガラス類	4,069	11.6	4.069	4,069
金属類	13,953	10.6	8.347	1,427
紙	5,022	3.8	598	1,337
布	1,481	1.1	496	496
その他	1,447	1.1	825	825
合計	86,726	100	94,385	94,385

(破片・レジンベレット・タバコを除く)

プラスチック類比率(*) 66.1%

容器包装類比率(*) 72.0%

(*) 破片、レジンベレット、タバコのすいがらを除く全散乱ゴミに対する割合

(2) 散乱ゴミのワースト順位と2008年との比較

順位	品名	2009年	割合	2008年	昨年
		個数	(%)	個数	比
1	ペットボトル	23,278	12.1	11,616	2.0
2	発泡スチロールの細かな破片	16,363	8.5	9,130	1.8
3	袋・シートなどの小さな破片	16,044	8.4	18,534	0.9
4	食品などのポリ袋	12,232	6.4	12,395	1.0
5	その他のプラスチック製品	12,047	6.3	7,482	1.6
6	プラスチックの細かな破片	11,064	5.8	7,391	1.5
7	買い物レジ袋	9,262	4.8	7,583	1.2
8	飲料ビン	8,499	4.4	4,208	2.0
9	飲料缶	8,347	4.4	6,271	1.3
10	紙くず・紙片	7,881	4.1	9,957	0.8
11	タバコのすいがら	6,950	3.6	10,655	0.7
12	その他の袋やシート	5,840	3.0	3,705	1.6
13	その他発泡スチロール製品	5,632	2.9	1,028	5.5
14	フタやキャップ	5,278	2.8	4,101	1.3
15	食品トレイ	4,483	2.3	3,599	1.2
16	弁当やカップめんの容器	4,069	2.1	2,703	1.5
17	ボール類	3,611	1.9	1,385	2.6
18	使いきりライター	2,379	1.2	1,732	1.4
19	スプレー缶・小型ボンベ	1,966	1.0	937	2.1
20	くつ・サンダル・スリッパ	1,801	1.0	984	1.8
21	金属片・針金	1,653	1.0	1,837	0.9
22	シャンプーや洗剤等容器	1,641	1.0	1,088	1.5
23	材木・板	1,568	1.0	1,393	1.1
24	ガラスやせともの細かな破片	1,566	1.0	2,885	0.5
25	衣類・布製品	1,481	1.0	985	1.5
26	その他	1,427	1.0	706	2.0
27	ひもやロープ	1,344	1.0	953	1.4
28	紙パック	1,337	1.0	1,372	1.0
29	スポンジ、発泡ウレタンなど	1,009	1.0	800	1.3
30	その他のガラス製品	974	1.0	828	1.2
31	その他の紙製品	959	1.0	1,255	0.8
32	ホース類	864	1.0	454	1.9
33	花火かす	831	1.0	1,800	0.5
34	その他	825	1.0	1,117	0.7
35	新聞・雑誌	801	1.0	1,070	0.7
36	レジンベレット	746	1.0	7,842	0.1
37	おもちゃ・遊具	661	1.0	389	1.7
38	注射器(危険物)	622	1.0	146	4.3
39	ビデオ・CD・DVD	611	1.0	493	1.2
40	タバコのパッケージ	598	1.0	1,012	0.6
41	電池	560	1.0	537	1.0
42	せともの	558	1.0	326	1.7
43	筆記具(ボールペンなど)	518	1.0	261	2.0
44	ダンボール	496	1.0	660	0.8
45	その他の木製品	368	1.0	482	0.8
46	はし・割りばし	256	1.0	354	0.7
47	釣具・漁具	244	1.0	126	1.9
48	かばん類	228	1.0	381	1.6
合計	191,772	100	156,948	0.2	

破片ゴミ

(3) 実施会場数と参加者数(1994~2009年)【グラフはP6】

【実施会場数】	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
秋(上中流)	0	0	0	3	3	2	2	3	2	2	4	6	10	15	17	14
秋(下流)	21	20	26	30	32	30	31	35	37	51	48	44	46	56	50	53
春(下流のみ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	19	19	21	29	25	23
通年計	21	20	26	33	35	32	33	38	39	69	71	69	77	100	92	90
【参加者数】	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
秋(上中流)	0	0	0	337	0	1110	1593	1600	2032	2008	1885	2118	2867	2353	2791	1998
秋(下流)	2607	4255	4310	4107	3837	4540	4355	6427	5022	7446	6820	5531	5438	5769	5568	5722
春(下流のみ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1243	1328	1406	2067	2143	1919	2168
通年計	2607	4255	4310	4444	3837	5650	5948	8027	7054	10697	10033	9055	10372	10265	10278	9888

(4)粗大ゴミ回収数(2006～2009年 通年・全域)

No.	品名	2009年			2008年			2007年			2006年		
		個数	順位	割合(%)	個数	順位	割合(%)	個数	順位	割合(%)	個数	順位	割合(%)
1	自動車本体	0	—	—	1	43	—	—	—	—	—	—	
2	タイヤ	145	1	—	52	3	—	103	2	—	51	3	
3	バッテリー	6	45	—	11	21	—	18	20	—	23	6	
4	その他の自動車部品	18	25	—	12	19	—	49	6	—	14	16	
	ヘルメット							33	10		9	23	
5	バイク(本体または部品)	37	10	—	22	10	—	31	11	—	12	18	
6	自転車・三輪車(本体または部品)	66	8	—	39	5	—	65	5	—	61	2	
7	ペビーカー	4	47	—	0	—	—	0	—	—	2	42	
8	その他の乗り物	9	38	—	7	28	—	5	43	—	2	42	
9	その他交通関係	11	32	—	0	—	—	—	—	—	—	—	
	交通関係(合計)	296	19.2	—	144	20.1	—	304	23.9	—	174	26.5	
10	建築・工用資材	110	4	—	47	4	—	100	3	—	30	4	
11	コーン(工用道路標識等)	28	15	—	14	15	—	17	21	—	18	41	
12	その他標識・看板類	14	27	—	4	34	—	12	27	—	2	42	
13	ガスボンベ	7	41	—	1	43	—	35	9	—	7	28	
14	一斗缶・ペール缶	33	14	—	23	8	—	17	21	—	13	18	
15	ドラム缶	3	48	—	4	34	—	5	43	—	4	34	
16	消火器	20	24	—	4	34	—	21	17	—	7	28	
17	業務用緩衝材・断熱材	11	32	—	2	42	—	9	34	—	8	24	
18	材木・角材	142	2	—	90	1	—	179	1	—	29	5	
19	漁具	14	27	—	7	28	—	10	32	—	11	22	
20	ロープ・ネット	8	40	—	1	43	—	22	16	—	19	13	
21	コード・ケーブル	22	22	—	19	11	—	80	4	—	80	1	
22	大型シート	37	10	—	19	11	—	49	6	—	6	30	
23	ビールケース・酒ケース	13	29	—	5	32	—	6	40	—	8	24	
24	木箱・木枠・物流用木製パレット	27	16	—	8	25	—	13	25	—	2	42	
25	発泡スチロール箱	36	12	—	11	21	—	26	14	—	20	11	
26	その他業務用	116	3	—	31	6	—	9	34	—	—	—	
	業務用品(合計)	641	41.6	—	290	40.6	—	610	47.9	—	264	40.2	
27	家具	25	19	—	13	17	—	19	19	—	21	10	
28	座椅子	6	45	—	0	—	—	9	34	—	4	34	
29	ソファ	2	49	—	4	34	—	4	46	—	3	37	
30	布団・マットレス	38	9	—	17	14	—	31	11	—	15	15	
31	畳・ござ	10	36	—	12	19	—	10	32	—	2	42	
32	カーペットなどの敷物	7	41	—	14	15	—	12	27	—	8	24	
33	健康器具	7	41	—	0	—	—	0	—	—	3	37	
34	プラケース・プラカゴ(衣類ケース)	97	5	—	72	2	—	41	8	—	22	6	
35	プラ以外のかご・箱類	26	18	—	13	17	—	14	24	—	12	18	
36	ポリタンク	17	26	—	8	25	—	13	25	—	14	16	
37	ガスコンロ	11	32	—	3	40	—	8	38	—	23	6	
38	アウトドア用品・テント	25	19	—	9	24	—	12	27	—	3	37	
39	ゴルフバッグ・ゴルフ用品	13	29	—	5	32	—	5	43	—	4	34	
40	プランターボックスなど大型園芸用品	21	23	—	8	25	—	11	31	—	3	37	
41	傘	78	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
42	その他生活用品	69	7	—	23	8	—	21	17	—	—	—	
	生活用品(合計)	452	29.3	—	201	28.1	—	210	16.5	—	137	20.9	
43	ブラウン管テレビ	27	16	—	18	13	—	25	15	—	20	11	
44	液晶テレビ	2	49	—	1	43	—	1	47	—	0	—	
45	パソコン・周辺機器	13	29	—	4	34	—	9	34	—	6	30	
46	エアコン	9	38	—	11	21	—	6	40	—	12	18	
47	音響機器・ラジカセ	25	19	—	6	31	—	15	23	—	22	6	
48	冷蔵庫	11	32	—	7	28	—	6	40	—	5	32	
49	洗濯機	1	51	—	0	—	—	1	47	—	3	37	
50	照明器具	7	41	—	3	40	—	7	39	—	1	47	
51	調理家電	10	36	—	4	34	—	12	27	—	5	32	
52	その他の家電品	36	12	—	24	7	—	27	13	—	8	24	
	家電製品(合計)	141	9.1	—	78	10.9	—	109	8.6	—	82	12.5	
	その他	11	0.7	—	2	0.3	—	41	3.2	—	0	0.0	
	合計	1541	100	—	715	100	—	1274	100	—	657	100	

(5)ゴミ袋数と粗大ゴミ数(1995～2009年)【グラフはP6】

【散乱ゴミ袋数】	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
秋(上中流)									1820	1373	890	469	542	408	481
秋(下流)	3699	3124	2916	2603	1914	2647	2908	1896	2574	3032	1530	2528	3564	2284	2459
春(下流)	0	0	0	0	0	0	0	0	393	888	684	509	848	975	1498
通年計	3699	3124	2916	2603	1914	2647	2908	1896	4,787	5,293	3,104	3,506	4,954	3,667	4,438
【粗大ゴミ数】															
秋(上中流)									64	210	109	107	178	105	384
秋(下流)	1001	531	499	409	396	214	294	242	266	267	255	350	808	346	730
春(下流)	0	0	0	0	0	0	0	0	157	226	187	200	288	265	427
通年計	1001	531	499	409	396	214	294	242	487	703	551	657	1274	716	1541

(6)身近な川の一斉水質調査2009(6月)結果一覧

河川名	調査地点 (採水ポイント)	実施団体名	実施日	開始 時間	気温 (℃)	水温 (℃)	pH	CO D (1)	CO D (2)	CO D (3)	COD 中央値 (mg/g)	アンモ ニウム 態窒素 (mg/g)	亜硝酸 態窒素 (mg/g)	硝酸態 窒素 (mg/g)	無機窒 素合計 (mg/g)	水の色	水にお い	透視 度 (cm)	
【埼玉県南部】																			
びん沼川	砂塚橋	秋ヶ瀬にフンドを作る会	6月7日	14:25	28	27	7	8	8	8	8	0.2	0.02	0.84	1.06	薄黄緑色	なし	20	
緑川	喜沢橋 南	川口市立西中学校科学部	6月3日	15:00	25	21	7.5	8	8	8	8	*	5			無色	なし	18	
緑川	前川橋	緑川を豊かな環境にする会	6月7日	8:00	24.5	22	7.5	4	6	7	6	0.2	0.02	0.34	0.56	やや黄色	藻のにおい	100	
緑川	愛宕橋	緑川を豊かな環境にする会	6月7日	8:00	24.5	21	7	4	6	7	6	0.2	0.01	0.42	0.63	無色	なし	100	
緑川	観音橋	緑川を豊かな環境にする会	6月7日	8:00	24.5	21	7.5	8	6	8	8	*	0.2	0.02	0.34	0.86	少し濁り	ドブ臭い	63
緑川	三枚橋	緑川を豊かな環境にする会	6月7日	8:00	24.5	21	7	8	8	6	8	*	0.2	0.01	0.12	0.33	やや黄色	汚水の臭い	84
芝川	柳根橋	荒川夢クラブ (林・宮島ファミリーズ)	6月4日	10:00	23	22	7	8	8	8	8	**	0.5	0.2	0.4	1.1	無色	なし	21
芝川	網代人道橋	荒川夢クラブ (林・宮島ファミリーズ)	6月4日	10:00	23	22	7	8	8	8	8	**	0.5	0.2	0.4	1.1	少し にごり	草の におい	16
旧芝川	芝川水門	国際環境アートムーブ川口	6月7日	15:30	28.3	22	7	12	12	12	12	**	1	0.05	0.06	2.05	少し黄色い	少し臭い	43
高蒲川	緑橋	川口市立西中学校科学部	6月3日	15:00	25	20.5	8.5	6	6	6	6	5				無色	なし	20	
伝右川	出羽公園橋付近	川面アメンボウの会	6月9日	10:00	19.1	18.6	7	7	8	7	7	**	1.0	0.05	0.35	1.40	白濁色	少しドブ臭	47
綾瀬川	一之橋付近	川面アメンボウの会	6月9日	12:00	23.6	20.1	8	12	8	8	8	**	0.7	0.06	1.02	1.78	半透明	なし	40
【東京都荒川以東】																			
垢川	平成泉橋	NPO法人エコロジー夢企画	6月9日	11:40	28	22	7.5	12	12	12	12	**	2	0.5	1	3.5	濁淡茶	藻のにおい	8
綾瀬川	伊藤谷橋	NPO法人エコロジー夢企画	6月9日	11:00	27	18	7	6	6	6	6	0.5	0.05	1.6	2.15	淡茶色	なし		
綾瀬川	木根川橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6月7日	10:22	28	22	7	5	5	5	5	1	0.1	1.2	2.3	薄茶色	なし	35.5	
中川	平井大橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6月7日	9:35	25	22	7	5	6	6	6	0.2	0.05	1.1	1.35	微茶色	なし	46	
中川	小松川橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6月7日	11:03	28	22	6.8	5	5	5	5	0.3	0.1	1.2	1.6	薄黄色	なし	41	
中川	葛西橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6月7日	12:00	26	22	7	5	5	5	5	0.5	0.07	1.4	2.01	薄黄土色	なし	36.4	
新中川	小岩大橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6月7日	9:00	25	22	7	5	6	5	5	0.2	0.05	1.6	1.85	薄黄土色	なし	32	
新左近川	かもめ橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6月7日	10:00	25	21.5	7.5	4	4	4	4	0.4	0.03	0.26	0.69	無色	なし	58.0	
新左近川	しじみ橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6月7日	10:20	25	22	7.5	4	4	4	4	0.4	0.03	0.26	0.69	無色	なし	51	
新川	人道橋(環七下)	江戸川・生活者ネットワーク	6月14日	17:00	25	23	9.5	4	4	4	4	0.2	0.05	1.6	1.85	なし	なし	76	
【荒川本流下流部】																			
荒川	秋ヶ瀬取水堰	秋ヶ瀬にフンドを作る会	6月7日	11:30	27	22	7	6	6	4	6	0.2	0.02	0.34	0.56	なし	なし	63	
荒川	笹目橋	いたばし野鳥クラブ、 板橋水辺を楽しむ会	6月8日	10:50	19	21	6.8	4	4	4	4	1	0.05	6.6	7.65	薄茶色	なし	47	
荒川	戸田橋	いたばし野鳥クラブ、 板橋水辺を楽しむ会	6月8日	10:10	19	21	6.8	6	6	6	6	0.5	0.1	2.2	2.8	薄茶色	なし	45	
荒川	戸田橋 南(橋以外)	川口市立西中学校科学部	6月11日	16:30	24	23	7.5	4	6	6	6	5	0.2	3.4	8.6	無色	なし	18	
荒川	京浜東線鉄橋下	川口市立西中学校科学部	6月3日	15:00	25	21	8	6	6	6	6	5				無色	なし	15	
荒川	新荒川大橋	ガールスカウト日本連盟 埼玉第59団	6月5日	10:30	20	20	7.5	8	8	6	8	*	1	0.5	1	2.5	薄茶色	なし	35
荒川	新荒川大橋	北区水辺の会	6月7日	10:40	26	22	7.5	8	8	8	8	**	1.5	0.07	0.94	2.51	淡灰色	なし	53.5
荒川	扇大橋	尾久の原愛好会	6月7日	13:30	28	23	7	8	8	14	14	***	2	0.05	4.6	6.65	にごりあり	若干におい	60

(7)秋のクリーンエイド時水質調査2009結果一覧

会場 No	調査地点 (採水ポイント)	実施団体名	実施日	曜日	気温 (℃)	水温 (℃)	pH	COD (mg/g)	アンモ ニウム 態窒素 (mg/g)	亜硝酸 態窒素 (mg/g)	硝酸態 窒素 (mg/g)	無機窒 素合計	水の色	水のにおい	透視度 (cm)
【荒川本流】															
2	高砂橋	秩父こどもエコクラブ	9月20日	日	22	18	7.5	6	1	0.015	0.88	1.90	透明に近い白濁	無	透明に近い
3	荒川大橋下流	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会 第12回荒川の恵みと熊谷の環境を考える集い実行委員会	11月8日	日	20	18	7.5	4	0.2	0.005	0.96	1.17	透明	無	
4	大芦橋	鴻巣の環境を考える会	11月23日	月	14.5	11	7	2	0.2	0.005	0.16	0.37	無色	無臭	100
5	糠田橋	鴻巣の環境を考える会	11月23日	月	13	10.5	7	6	0.2	0.01	0.92	1.13	無色	無臭	64
6	御成橋	鴻巣の環境を考える会	11月23日	月	15.5	11	7	5	0.5	0.02	0.14	0.66	無色	無臭	91
47	秋ヶ瀬堰上流	ダイエーグループ、マルエツグループ、セディナグループ、丸紅グループ	11月7日	土	20	14	7	4	0.2	0.01	0.96	1.17	無	無	80
49	戸田橋	板橋グローブクラブ	11月15日	日	19.4	18.7	7.5	7	1.5	0.04	4.72	6.26	やや濁り	やや臭う	79
19	河原町はらっぱ前	(財)埼玉県生態系保護協会川口支部	10月24日	土	19.2	20.2	7	7	3	0.30	5.60	8.90			59.5
20	北区子どもの水辺脇	北区水辺クラブ	10月10日	土	17	19	7	7	0.2	0.02	3.84	4.06	茶	無	12
21	新荒川大橋	北区水辺の会	10月17日	土	20	19	7	8	1	0.2	0.4	1.60	淡灰色	無	40
50	新荒川大橋	都立桐ヶ丘高校	11月10日	火	23.5	18.2	7	7	1	0.30	0.60	1.90	薄黄色	無	65
22	岩淵船着場	北区	10月18日	日	26	19	7	6	1	0.10	1.20	2.30	濁り有	潮の香り	30
24	扇大橋	尾久の原愛好会	10月25日	日	13	12	7.5	12	1	0.20	3.40	4.60	無	無	
51	西新井橋	都立白鷗高校	10月1日	木	26.5	22.5	7.5	18	2	0.05	4.60	6.65	薄茶	有臭	44
25	扇大橋サッカー場脇	荒川区教育委員会事務局社会体育課	11月1日	日	21	18	7	4	1	0.03	1.76	2.79	無	無	55
26	西新井橋駐車場脇	荒川区教育委員会事務局社会体育課	11月1日	日	21	18	7.5	6	1	0.05	1.60	2.65	濁り有	どぶ臭い	10
44	西新井橋	足立区あらかわ市民会議	11月8日	日	19	20	7.5	8	0.5	0.20	0.40	1.10	淡黄茶		52
28	千住新橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	9月26日	土	26	26	7.5	12	1	0.15	2.80	3.95	かすかに茶色	潮の香り	30
29	千住新橋	足立区、足立区荒川ビジターセンター、足立の川を考える会	11月8日	日	18	16	7.5	7.5	1	0.07	3.44	4.51	極薄い茶褐色	潮の臭い	43
56	小菅ワンド脇	足立成和信用金庫	9月26日	土	25	23	7	8	1	0.20	3.40	4.60	少し濁り	ほぼ無し	32
32	堀切橋	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	10月25日	日	15	18	7	6	0.2	0.20	0.40	0.80	淡灰緑色	無	35
59	木根川橋	新生フィナンシャル株	10月21日	水	21.5	22	7	7.8	1	0.10	3.40	4.50	無	無	41
73	平井水上ステーション	DKWBS	10月18日	日	24		7	6	1.5	0.20	0.40	2.10	やや濁り	無	28
64	平井大橋	(株)ローソン	11月1日	日	26.5	21	7	7	1	0.10	1.20	2.30	少し茶色	磯の香り	22.5
37	平井大橋	下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラム、三井ボランティアネットワーク事業団	10月18日	日	20.0	20.3	7.5	5	0.8	0.50	1.00	2.30	薄茶色	無	10
39	平井大橋	中土手に自然を戻す市民の会	11月15日	日	21.5	16.5	6.9	6	0.7	0.09	2.78	3.57	微薄茶	何か臭う	35
38	船堀橋	江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト第215団	11月8日	日	19	18.2	7.5	8	2	0.10	1.20	3.30	少し緑	無	29
70	船堀橋	シティグループ	11月7日	土	21	18	7.5	7	1	0.08	0.66	1.74	かすかに茶色	少しあり	43
42	東西線鉄橋下	江東区土木部水辺と緑の課	10月24日	土	20	20	7.5	4	0.2				無	無	61
43	葛西東なぎさ	葛西東渚・鳥類園友の会	11月10日	火	23	20	8	2	0	0.03	0.26	0.29	無	無	76
【支流】															
10	越辺川 石今橋	NPO法人はとやま環境フォーラム	10月18日	日	23	19	7.5	4	0.2	0.005	4.96	5.17	透明	無	99
13	不老川 新入曾橋	不老川流域川づくり市民の会	11月1日	日	20	17	7.5	12	0.5	0.05	14.60	15.15	きれい	洗剤臭	107
14	黒目川 上落馬橋	黒目川クリーンエイド実行委員会	10月25日	日	13	17	7	0	0.2	0.005	0.96	1.17	無	無	130
15	黒目川 浜崎黒目橋	黒目川に親しむ会	10月11日	日			7	2	0.2	0.01	1.92	2.13	無	無	130

資料

荒川クリーンエイド ゴミ調査用紙(散乱ゴミ)

荒川クリーンエイド ゴミ調査カード

№ _____

調査年月日: 年 月 日() 時 ころ

例 2	買った物レジ袋 正正正 T	17	おもに拾った場所 ⇒ 水際 河川敷 堤防 (○で囲む)
-----	---------------	----	-----------------------------

★袋の使い方
 緑=プラスチック類 青=金属・ガラス 赤=いろいろな素材・紙・木・布
 ※「可燃」「不燃」「資源」の区分は各自治体の指示に従って下さい。

実施団体名: _____
 記入者氏名: _____

No.	ゴミの種類	合計	No.	ゴミの種類	合計
プラスチック(袋やシート)	1 食品などのポリ袋		27 使いきりライター		
	2 買った物レジ袋		28 オモチャ・遊具		
	3 その他の袋やシート		29 ボール類		
	4 ひもやロープ		30 筆記具(ボールペンなど)		
	5 袋・シートなどの小さな破片(5cm以下)		31 くつ・サンダル・スリッパ		
プラスチック(かたいもの)	6 ペットボトル		32 かばん類		
	7 シャンプーや洗剤などの容器		33 ホース類		
	8 フタやキャップ		34 釣具・漁具		
	9 ビデオ・CD・DVD		35 タバコのすいがらとフィルター		
	10 その他のプラスチック製品		36 タバコのパッケージ		
発泡スチロールなど	11 プラスチックの細かな破片(2cm以下)		37 紙パック		
	12 レジンベレット(プラスチックの4mmほどの粒)		38 新聞・雑誌		
	13 弁当やカップめんなどの容器		39 ダンボール		
	14 食品トレイ		40 花火かす		
	15 その他の発泡スチロール製品		41 その他の紙製品		
金属類	16 発泡スチロールの細かな破片(2cm以下)		42 紙くず・紙片		
	17 スポンジ、発泡ウレタンなど		43 材木・板		
	18 飲料缶		44 はし・割りばし		
	19 その他の缶		45 その他の木製品		
	20 スプレー缶、小型ポンペ		46 衣類・布製品		
ガラスせともの	21 電池		47 注射器・注射針		
	22 金属片・針金		注意 注射器を見つけたら、子どもは触らない。刺さないようにペットボトルに回収し、ゴミ袋と分けておく。		
	23 飲料ビン		■表のほかに目立つゴミがあれば記載して数えてください。		
	24 その他のガラス製品				
	25 せともの				
26 ガラスやせともの細かな破片(2cm以下)					

★重くて動かさない粗大ゴミ → 場所と品目・数をここに記入し、キャプテンに報告して下さい

注) 動物の死骸やヨシ・流木など自然のものはいりません。

荒川クリーンエイド ゴミ調査用紙(粗大ゴミ)

【荒川クリーンエイド報告提出書式】《No.2》 *会場で記入*

会場No. _____

荒川クリーンエイド 粗大ゴミ集計用紙

●粗大ゴミは、袋に入らない大きなゴミ・重いゴミ。
●集積場所に運ばれた粗大ゴミを、まとめてカウントしてください。
●重くて動かせないゴミは、場所と品目・数を「当日報告用紙」の地図欄に記入してください。(この集計用紙にも記載)

実施団体名		実施日		記入者名	

交通関係			⇒交通関係合計		
No.	ゴミの種類	合計	No.	ゴミの種類	合計
1	自動車(本体)		7	ベビーカー	
2	タイヤ		8	その他の乗り物()	
3	バッテリー		9	その他()	
4	その他の自動車部品				
5	バイク(本体または部品)				
6	自転車・三輪車(本体または部品)				
業務用品			⇒業務用品合計		
10	建築・工務用資機材(パイプ・ブロックなど)		20	ロープ・ネット	
11	コーン(工務用道路標識等)		21	コード・ケーブル類	
12	その他の標識・看板類		22	大型シート(ブルーシート等)	
13	ガスボンベ		23	ビールケース・酒ケース	
14	一斗缶・バール缶		24	木箱・木枠・物流用木製パレット	
15	ドラム缶		25	発泡スチロール箱	
16	消火器		26	その他()	
17	業務用緩衝材・断熱材				
18	材木・角材				
19	漁具(大型のウキ・フロート・フイなど)				
生活用品(家電品除く)			⇒生活用品合計		
27	家具(机・タンス・イスなど)		36	ポリタンク	
28	座椅子		37	ガスコンロ	
29	ソファ		38	アウトドア用品・テント	
30	布団・マットレス		39	ゴルフバッグ・ゴルフ用品	
31	畳・ござ		40	プランターボックスなど大型園芸用品	
32	カーペットなどの敷物		41	傘	
33	健康器具		42	その他()	
34	プラケース・プラカゴ(衣類ケース)				
35	プラスチック製以外のカゴ・箱類				
家電製品			⇒家電製品合計		
43	ブラウン管テレビ		50	照明器具	
44	液晶テレビ		51	調理家電(電子レンジ・トースター)	
45	パソコン・周辺機器		52	その他()	
46	エアコン				
47	音響機器・ラジカセ				
48	冷蔵庫				
49	洗濯機				

実施後1週間以内に、郵送・FAX(03-3654-7256)・Eメールで提出願います

広報資料

■荒川クリーンエイド2009ポスター、リーフレット(スタンド型)

秋のクリーンエイド月間に向けて、各会場での参加者募集用に作成・配布しています。

今年は、駅のラックに置くこと、募集チラシとしての使いやすさを考え、これまでの三つ折りに加えてスタンド型を作りました。スタンド型リーフレットは、ミニポスターとしても活用いただきました。



リーフレット中面

■荒川クリーンエイド2009リーフレット(三つ折り)

秋のクリーンエイドが終わった後も、荒川クリーンエイドの紹介用に使えるよう作成しました。



三つ折りリーフレット

■荒川クリーンエイド ニュースレター

年4回発行し、クリーンエイド会場情報や各種イベントの予告・報告などをお伝えしました。

(4/10、7/1、9/1、11/20号)



ポスター

荒川沿川22駅にリーフレットを置き、一部ポスターを貼って、一般の方にも広く知っていただけるようにしました。また、荒川情報誌ARAにリーフレットを同封しました(4000部)。



駅に貼られた「荒川クリーンエイド2009」ポスター、ラックに置かれたリーフレット

※ポスター、リーフレットは関東建設弘済会の公益助成を受けて作成しました。

マスコミに紹介された荒川クリーンエイド

2009年も多くのマスコミや情報誌・市区報等に取り上げていただきました。その一部ですが、ここに採録します。

発行日・掲載日	掲載誌	内容
2009年4月号	東京グルンNEWS(NTT労組)	荒川を清掃するボランティアに参加してみませんか?
2009年4月24日	東都よみうり	"24時間テレビ" 荒川クリーンエイドアクション 清掃ボランティアを募集
2009年5月号	FXSS 広報誌(富士ゼロックス)	団体ボランティア参加募集 荒川河川敷清掃活動5月30日
2009年5月24日	読売新聞	荒川河川敷で清掃 日テレ社員含む270人
2009年5月31日	あらかわ(荒川流域ネットワーク)	2009年度秋の上・中流域でのクリーンエイドに参加する団体を募集
2009年6月4日	日本テレビ	[おもいっきりDON!]でクリーンエイド活動を生中継
2009年6月7日	日本テレビ	[24時間テレビレポート]で荒川クリーンエイドアクション2009を放映
2009年6月号	東京グルンNEWS(NTT労組)	[環境]統一行動 「荒川クリーンアップ行動」 充実感を味わい、環境問題を再認識
2009年6月11日	すまいるFM(埼玉)	[キミに、つながレディオ] 出演(林)
2009年7月20日	河川((社)日本河川協会)	特集●良好な水辺環境の創出 地域住民・自治体の連携した環境美化活動
2009年8月29日~30日	日本テレビ	24時間テレビ32「START!」放映(5/23実施分)
2009年10月号	協会ボランティア通信((社)日本損害保険協会)	~自分にあったボランティア探し~荒川クリーンエイド2009
2009年10月9日	東都よみうり	荒川クリーンエイド
2009年10月10日	あだち広報	クリーンあらかわ 荒川クリーンエイド2009
2009年10月10日	北区ニュース	荒川クリーンエイド2009
2009年10月11日	こうとう区報	荒川クリーンエイド(河川一斉清掃)
2009年10月14日	埼玉新聞	イベント欄 河原町原っぱ会場(埼玉県生態系保護協会川口支部主催)のクリーンエイド告知
2009年10月15日	区報かつしか	荒川クリーン作戦
2009年10月27日	いたばし こどもエコクラブ&グローブ ニュース	11月15日(日)荒川をきれいにしよう! ★荒川クリーンエイド★
2009年11月1日	広報えどがわ	東なぎさ大クリーン作戦
2009年11月1日	すみだ広報	荒川クリーンエイド2009
2009年11月6日	足立区HP	11月8日開催「クリーンあらかわ」への参加をお待ちしています!
2009年12月15日	WEEKLY EPORT(東京東江戸川ロータリークラブ)	荒川クリーンエイド2009実施報告 荒川クリーンエイド2009報告会参加報告
2009年12月16日	荒川の自然(あらかわ学会)	秋のクリーンエイドが終わりました
2009年12月21日	FMえどがわ	[あしたへ…笑顔・りんりん] 生放送出演(佐藤)
ARA関係	ARA 3・4月号	2009第1回連絡会・野村圭佑環境賞表彰式、説明会4月25日、春のクリーンエイド実施
	ARA 夏 特別号	流域団体活動情報
	ARA 9・10月号	クリーンエイド一斉活動日
	ARA 11・12月号	ゴミ拾い、水質調査に投稿…荒川自然体験でみんな笑顔に!! 河川敷を美しく!

荒川クリーンエイド (河川一斉清掃)

荒川の自然を守り、育てていくための一歩として、今年も荒川クリーンエイドを行います。多くの方のボランティア参加をお待ちしています。なお、河川一斉清掃は荒川下流域2市9区で行われています。10/24(土) 9:30~11:30※雨天中止 荒川・砂町水辺公園(東西線鉄橋下) 西 ゴミの選別収集車・ゴミ袋・軍手は用意していますので、帽子・動きやすい服装でご参加ください。当日直接会場へ 水辺と緑の課維持係 ☎3647-2538

こうとう区報 平成21年10月11日

ち 広 報

日時 11月8日(日)、午前8時

荒川クリーンエイド2009

あだち広報 平成21年10月10日



日テレ「おもいっきりDON!」の生中継で荒川クリーンエイドが紹介された

荒川クリーンエイド2009

10月18日(日) 午前10時~正午(雨天中止) 荒川岩間緑地周辺 河川敷のゴミ調査及び清掃、水質検査 10月14日(水)までに電話申込 ※4名以上のグループでお申し込みください。

道路公園課 荒川係 ☎(3908)9275

北区ニュース 平成10年10月10日

河川 2009年7月号

特集・良好な水辺環境の創出~住民と連携した取り組み~

地域住民・自治体の連携した環境美化活動

Arakawa River environmental clean act on local populace cooperation with municipality



さとうしょうへい
佐藤正兵
Shobei Satoh

ゴミ拾いから川の生態系を守る活動へ

荒川クリーンエイドという名称で活動を始めて15年が経ちました。はじめはゴミ拾いを中心とした活動から、川の自然生態系を守るためにゴミを拾う活動へと目的意識も変化してきました。

荒川下流域は埼玉県南部から東京下町を流れて東京湾に注ぐ都市河川ですが、そこにはたくさんの自然があり、人々の心を癒してくれるとともに、多くの生きものの棲みかや通り道にもなっています。ところが、荒川の河川敷や水辺にはたくさんのゴミがたまり、貴重なヨシ原はゴミで埋め尽くされているところが多くあります。ゴミの大部分は、自然には戻らないプラスチック系素材で、人が拾わなければ、次々と積み重なって、ヨシ原などに悪い影響を与えています。



24時間テレビ荒川クリーンエイドアクション

荒川クリーンエイドは、ゴミを種類ごとに数えながら拾うことを通じて、それらのゴミがどのようにして捨てられ、どのような経路を経てそこにあるのかを調査し、それをなくすためにはどうすれば良いかを、参加者と一緒に考え活動を続けてきました。

この活動を通じて見えてきたことは、荒川では漂着ゴミが溜まるヨシ原が、ゴミに覆われることによって減退していますが、そのヨシ原の漂着ゴミを拾って取り除くことによって、ヨシが元気になり、水を浄化するとともに、たくさんの生き物たちの棲みかとなって、自然を豊かにしてくれる、ということです。

一人ひとりの活動は小さいものでも、それが集まって荒川の自然をよみがえらせ、生きものたちを元気にし、それが回りまわって、私達人間を元

〈グラフ1〉荒川クリーンエイド参加者数(流域計)

年	春(下流のみ)	秋(上中流)	秋(下流)
1994	2000	0	0
1995	4000	0	0
1996	4000	0	0
1997	4000	0	0
1998	4000	0	0
1999	4000	0	0
2000	4000	0	0
2001	4000	0	0
2002	4000	0	0
2003	4000	0	0
2004	4000	0	0
2005	4000	0	0
2006	4000	0	0
2007	4000	0	0
2008	4000	0	0

*特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム代表理事
Head Director, NPO Arakawa Clean-aid Forum

2009年の主な活動

月日	曜日	活動内容	会場、主催等
【クリーンエイド活動】			
2月18日	水	海辺の漂着物調査	葛西海浜公園 東なぎさ
3月14日	土	荒川クリーンエイド連絡会	足立区生涯学習センター
4月25日	土	春のクリーンエイド説明会・みんなのクリーンエイド(以下CA)	足立区生涯学習センター
5月23日	土	日テレ24時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション」共催・自然環境教室	船堀橋～荒川ロックゲート
6月27日	土	海辺の漂着物調査	葛西海浜公園 東なぎさ
9月18日	金	海辺の漂着物調査	葛西海浜公園 東なぎさ
9月26日	土	荒川クリーンエイド2009説明会・みんなのCA	足立区生涯学習センター
10月18日	日	下平井水辺の楽校・荒川クリーンエイド・フォーラム共催CA	下平井水辺の楽校
11月10日	火	海辺の漂着物調査	葛西海浜公園 東なぎさ
12月5日	土	荒川クリーンエイド2009 報告会	AMOAホール

【クリーンエイド活動 サポート・サービス】			
4月4日	土	日興シティビジネスサービス(株) 新入社員研修プログラム	小松川自然地
4月11日	土	(株)新生銀行 新入社員研修プログラム	木根川橋上流左岸
4月22日	水	ブルームバーグ L.P. CAサポート	木根川橋下流左岸
5月8日	金	日テレ24時間テレビ 事前研修	日本テレビ本社
5月9日	土	NTT労働組合 CAサポート・自然環境教室	舍人ライナー下流右岸
5月13日	水	都立日本橋高校 事前講習	都立日本橋高等学校
5月23日	土	(株)エックスワン CAサポート	四ツ木橋上流右岸
5月27日	水	都立日本橋高校 CAサポート	木根川橋上流右岸
6月13日	土	富士ゼロックスシステムサービス(株) CAサポート	戸田橋緑地付近
6月23日	火	荒川下流河川事務所 CAサポート	都民ゴルフ場付近水辺
7月4日	土	りそな銀行 CAサポート	東西線下流右岸
9月8日	火	都立白鷗高校 事前講習	都立白鷗高校
10月1日	木	都立白鷗高校 CAサポート	西新井橋上流
10月14日	水	ブルームバーグ L.P. CAサポート	船堀橋上流右岸
10月17日	土	新生銀行グループ 自然環境教室	木根川橋周辺左岸
10月21日	水	新生フィナンシャル 水質調査サポート	木根川橋周辺左岸
10月23日	金	荒川下流河川事務所 CAサポート	堀切リバーステーション下流左岸
11月1日	日	日本アイ・ビー・エム(株) CAサポート・自然環境教室	船堀橋下流右岸
11月7日	土	シティグループ CAサポート	都営新宿線下流右岸
11月7日	土	(株)エックスワン CAサポート	四ツ木橋上流右岸
11月27日	金	韓国仁川国際高校 CAサポート	木根川橋下流右岸
11月28日	土	東京東江戸川ロータリークラブ CAサポート	

【クリーンエイド活動 出展】			
1月25日	日	埼玉県河川愛護交流会 出展	浦和パルコ
3月27-29日	金-日	江戸川区水辺交流会 出展	タワーホール船堀
6月6日	土	江戸川区環境フェア 出展	江戸川総合文化センター周辺
8月6-7日	木-金	日本アイ・ビー・エム(株) ボランティア見本市 出展	日本アイ・ビー・エム本社
11月19日	木	ブルームバーグ L.P. BOBデー 出展	ボランティア説明会

【水質調査】			
6月7日	日	身近な川の一斉水質調査	荒川流域で実施

【流域連携】			
2月22日	日	「荒川流域再生プロジェクト」荒川流域水環境シンポジウム	国立女性教育会館
4月26日	日	「荒川流域再生プロジェクト」アユの遡上支援作戦	菅間の堰 川越
6月20日	土	「荒川流域再生プロジェクト」アユの溯上調査	入間川、越辺川
8月30日	日	東京湾海水浴場復活シンポジウム 出展・後援	タワーホール船堀
9月5-6日	土-日	荒川源流エコツアー	秩父市大滝

月日	曜日	活動内容	会場、主催等
----	----	------	--------

【環境学習支援・指導者育成】			
7月5日	日	水辺の安全セミナー	下平井水辺の楽校・平井コミュニティ会館
7月25日	土	なつやすみ水辺の楽校	葛西臨海公園

【市民ボランティア活動の運営支援】			
10月31日	土	荒川市民バトロール研修会 開催サポート	あらかわ号乗船
11月24日	火	ゴミ対策協議会 開催準備会 運営サポート	AMOA

【運営・事務局】			
1月13日	火	運営委員会	小松川市民ファーム
3月4日	水	運営委員会	小松川市民ファーム
4月10日	金	ニュース2009 No.1 発行	
4月22日	水	運営委員会	小松川市民ファーム
5月16日	土	第10回定期総会・理事会	足立区生涯学習センター
5月18日	月	運営委員会	小松川市民ファーム
6月13日	土	運営委員会	小松川市民ファーム
7月1日	水	ニュース2009 No.2 発行	
7月21日	火	運営委員会	小松川市民ファーム
8月20日	木	運営委員会	小松川市民ファーム
9月1日	火	ニュース2009 No.3 発行	
9月14日	月	運営委員会	小松川市民ファーム
11月18日	水	運営委員会	小松川市民ファーム
11月20日	金	ニュース2009 No.4 発行	

【その他】			
2月3日	火	ソウル大視察団案内	中土手五色池、下平井水辺の楽校など
2月12日	木	ラックスタイ財団(タイNGO)来訪	小松川市民ファーム
2月13日	金	海辺の漂着物調査検討会で事例発表	タワートリプルワン会議室(富山)
3月11日	水	Panasonic NPOサポートファンド報告会 出席	パナソニックセンター
5月22日	金	河川功労者賞 受賞	砂防会館
6月4日	木	日本テレビ 「おもいっきりDON！」出演	小松川橋上流右岸でのCA活動をTV生中継
6月30日	火	荒川自然懇談会 出席	荒川下流河川事務所
7月11日	土	100日間プログラム開始(9/26まで)	東京ボランティア・市民活動センター
7月14日	火	外来種対策会議 出席	荒川下流河川事務所
7月17日	金	ヒスマイトトンボ生息地視察 同行	溜沼周辺
7月20日	月	サービスグラント HPリニューアルプロジェクト開始	小松川市民ファーム
7月27日	月	外来種対策会議 視察同行	板橋生態園
10月8日	木	荒川自然懇談会 出席	荒川下流河川事務所
10月17日	土	ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 活動発表	ネットワークミーティングで、ACFの活動を発表

注：2009年1～12月の荒川クリーンエイド・フォーラムの主な活動(小中学校支援を除く。小中学校支援についてはP35参照)

「埼玉の川をめぐる動き」について

上田清司県知事により「川の国・埼玉」として川に重点を置いた施策が取られ、川口市の芝川をはじめ県内5河川のモデル事業を皮切りに、26河川の再生事業が進められ、その上で県内100の河川の再生が順次取り組まれつつあります。その整備費用として「埼玉の川・愛県債」を県民に募り活用しています。この県民債は、県民の川を愛する気持ちに訴えるだけでなく、国債や民間の株、証券等よりも利回りが良いことから売れ行きが好調のようです。こう

した県行政の動きに呼応して、県民側も川にかかわるNPO、市民団体が連合体を作り、埼玉県のよりよい川づくりを目指そうと動き出しました。それが「埼玉県河川環境団体連絡協議会」(略称・埼河連)の設立です。県内河川団体が年1回集まる「埼玉県河川愛護交流会」は、昨年から初めて県と市民の共催となり、さらに2010年1月23日(土)浦和の埼玉会館で「川の再生交流会～川の守り人全員集合～」へと発展・進化した形で開催されようとしています。


これらの動きの中で、荒川クリーンエイドも、「河川クリーン作戦」の一環として力を入れていただいています。(文責 林 美恵子)


荒川クリーンエイド2009お世話になりました

後援●国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、
埼玉県、東京都、戸田市、川口市、板橋区、北区、荒川区、台東区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区
協力●東京都北多摩北部建設事務所、秩父市、長瀬町、熊谷市、鴻巣市、鶴ヶ島市、東松山市、吉見町、滑川町、上尾市、
川島町、日高市、鳩山町、狭山市、東久留米市、朝霞市
協賛●


足立成和信用金庫

足立成和信用金庫
足立成和信用金庫は、10年前より荒川クリーンエイドに参加させて頂き、大変お世話になっております。
10年前は、荒川土手は今とは違い草むらや川岸にはペットボトルにタバコの吸殻・食品トレイ等のゴミが沢山あり、川の水も今以上に臭いがあつたように思います。
でも、今は荒川クリーンエイドの方々を中心に荒川のいたるところで清掃が行われるようになり、年々川も土手も綺麗になり川にはコイやハゼが多く見られるようになりました。
これも偏に、荒川クリーンエイドの方々のおかげと感謝しております。
今後、足立成和信用金庫としても長く参加して行きたいと思っておりますので、ご協力、ご支援のほどよろしくお願い致します。

**社団法人 食品容器環境美化協会**
社団法人 食品容器環境美化協会は、荒川クリーンエイドの清掃活動が今後も永く続き、ますます充実するよう願っています。

**東京白鷗・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ**
荒川クリーンエイドは大変地味な活動で、最近では河川敷も以前に比べるとずいぶんキレイになっているので、「ゴミ拾いに参加する意味がないのでは？」という声すら聞こえるようになりました。参加する事の本当の意味をもっと広げていくことの大切さを感じ、それが我々の役目でもあると再認識しました。今後も我々ライオンズクラブの環境保全活動の一環として継続して参加していくつもりです。


**株式会社 トンボ鉛筆**
今年も協賛という形で参加させていただきましたが、荒川クリーンエイドを通じて年々世の中の環境保全意識の高まりを感じています。
さて、私たちの企業名のもとになっているトンボはきれいな水辺の環境を欠かすことができません。いつまでもトンボが住める豊かな自然を守り続ける、そのためには一人ひとりの身近な活動の積み重ねが大切だと考えています。今後益々、荒川クリーンエイド活動が発展し、さらに参加の輪が広がることを祈念いたします。

ひとのときを、 **日本たばこ産業株式会社 東京支店**
荒川の上流から下流まで、これだけ大規模な清掃活動を毎年実施されているのは本当にすごい事だと思います。
JTでも「ひろえば街が好きになる運動」という同様の清掃活動を実施していますが、これらの活動を通じて「捨てない」気持ちにより多くの人に広がるとよいと思います。

心と技術で応える—ビルケア


株式会社 日立ビルシステム
荒川クリーンエイドは16年目を迎え、毎年1万人を超える人々が参加する大きな活動となっていることは本当に素晴らしいことと思います。しかし、日本人は礼儀正しいと言われる一方で、ゴミをあたり構わず捨てる人が多いことも嘆かわしい事実です。ゴミを拾う活動から、ゴミを捨てない、地球を汚さないという意識が日本中、そして世界中に伝わっていくことを願い、微力ながら貢献したいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

**ライオン株式会社**
ライオン株式会社は、荒川クリーンエイドに参加するとともに、活動を支援いたします。

**株式会社 ローソン**
荒川クリーンエイド・フォーラムのみなさまには、いつもお世話になっております。ローソンは、1994年より「荒川クリーンエイド」に参加し、加盟店オーナー・クルー(アルバイト)をはじめ、本部社員やその家族、さらに最近ではお取引さまにも加わっていただき清掃活動を行っています。今後もクリーンエイドに参加・協力してまいりますのでよろしくお願い致します。
ローソンではこれからも様々な活動を通じて、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」という企業理念のもと、「地球と人にやさしい」マチのほっとステーションの実現に努めてまいります。

主催●特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム
この活動は国土交通省荒川下流河川事務所と協働で実施しています。

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラムの組織

代表理事 佐藤正兵
副代表理事 薄井洋一、栗林菊夫、林美恵子
理事 石本誠、伊藤浩子、鬼頭秀一、橋本浩基、恵小百合
監事 菅谷輝美、中嶋美南子
運営委員 石川勉、石本誠、伊藤浩子、糸岡栄博、薄井洋一、江原春美、栗林菊夫、佐藤正兵、末岡武洋、田口明美、橋本浩基、林美恵子、星野由実

団体正会員 27団体 学校法人足立学園中学校、足立成和信用金庫、(株)エックスワン、江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ、NTT労組東京総支部、江東エコリーダーの会、下平井水辺の楽校、情報労連東京都協議会、(株)新生銀行(コミュニティ委員会)、新生フィナンシャル(株)、DKWBS、(株)ダイエー、東京東江戸川ロータリークラブ、東京白鷗・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ、東京損害保険代理業協会城東支部、中土手に自然を戻す市民の会、日本サムスンデザインチーム、日本郵政グループ労働組合城北支部、(株)日立ビルシステム、富士ゼロックスシステムサービス(株)、富士ゼロックスシステムサービス(株)ボランティア基金、ブルームバークL.P.、松山油脂(株)、三井住友海上メットライフ生命保険(株)、りそな銀行、非公開希望 2団体

団体賛助会員 4団体
個人正会員 57人 / 個人賛助会員 66人 / 特別賛助会員 15団体 (2009.12.28現在)

- 請負業務 関東地方整備局荒川下流河川事務所より「河川環境美化啓発活動業務」、「荒川下流市民ボランティア活動運営支援業務」を請負
- 助成事業 ●財団法人大阪コミュニティ財団・東洋ゴムグループ環境保護基金より助成をいただき、荒川の環境保全と自然体験活動の指導者育成を実施
●日本財団より助成をいただき、ゴミ調査・水質調査支援、本報告書制作など
●関東建設弘済会より公益助成をいただき、広報資料制作など
- 寄附 ●特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム「定額給付金基金」より
●特定非営利活動法人日本水フォーラムを通じて、2009年度P&G「ホタル(川の美化活動)」キャンペーンより

【編集後記】
■年が変わっても、私たちの荒川に掛ける思いは変わりません。2010年もまた荒川で皆さんとお会いしましょう。(石川 勉)
■私たちの生活が便利になればなるほど自然に戻らないゴミが増えています。将来は、ゴミ拾いをしなくてもよい自然豊かな泳げる荒川になればと思っています。(石本 誠)
■昨年秋より、ほぼ毎日荒川クリーンエイドの事務局に通ってました。荒川で年間を通して楽しい活動がたくさんできることを目指しています。いつでもご連絡を。(伊藤 浩子)
■荒川の自然に魅せられ思わず感激の涙をこらえたのは6年前の春でした。「守るはずが教わった／都会のオアシスを／本当に大切なものを」次世代へ。(糸岡 栄博)
■クリーンエイドは一本の荒川を通じて多くの人々に感動を与えています。私もその一人ですが、今後も伝える側に立てるようにと思っています。(薄井 洋一)
■最下流の荒川河口橋から眺める冬の富士山が美しい。遠望すると美しい荒川。よく見るとゴミだらけ、では悲しい。私たちは何をしてきたかを誇れる活動に、明日も頑張ろう。(江原 春美)
■11月に、浮間公園で豊島区立池袋第二小学校2年生を対象にバードウォッチングを行いました。はじめてオオタカを子どもたちに見せることができました。(栗林 菊夫)

■2005報告集の大杉小学校故高瀬嘉代子先生のクラス児童の卒業文集あとのなかで、子どもたちが荒川探検で自己形成していく秘密を感慨深く読み返しました。(佐藤 正兵)
■真実はふだん見えない場所に隠されている。簡単に手が届くのに、その手を伸ばしてみることを思いつかなかった場所に。荒川に関わって下さって有難う。(田口 明美)
■相変わらずゴミの多い荒川。でも貴重な生き物も戻ってきました。荒川を、人間だけのものではない、生き物と“共有”できる場所にしたいですね！(橋本 浩基)
■雨天や新型インフルエンザで涙ながらに中止となった会場。2010年、青空の下、ウイルスの不安もない荒川でまたお会いできることを楽しみに！！(林 美恵子)
■さまざまな皆さんとつながりご支援をいただきながら、より価値ある活動へとステージアップできたらと願っています。2010年もよろしくお祈りします！(星野 由実)





荒川 ^{クリーンエイド} Clean Aid
あらかわ

荒川クリーンエイド2009 報告集

発行
特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム

132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
<http://www.cleanaid.jp/>
TEL : 03-3654-7240 FAX : 03-3654-7256
デザイン : 永野武宏
2010年3月発行

 **日本財団** 助成事業
The Nippon Foundation

この報告集は競艇の交付金による
日本財団の助成金を受けて作成しました